

アルバム編集の コマンド別機能解説

アルバム編集の各コマンドについて簡単に解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



アルバム編集のコマンド別機能解説

1. 画面まわりの解説	1
1-1 各部の名称と主な機能	1
2. ページツリー	2
2-1 ページツリーの機能	2
3. アルバムイメージビュー	4
3-1 アルバムイメージビューの機能	4
3-2 セルに文字を入力する	5
3-3 セルの属性を訂正する	6
①文字を赤色にして、取り消し線を付ける	6
②文字を枠内に納める	7
③項目名を中央で揃える	8
3-4 写真を挿入する	9
4. コマンドバー(アルバム作成)	10
4-1 コマンドバー(アルバム作成)の機能	10
4-2 ページを挿入する	11
4-3 別フォームのページを挿入する	12
[簡易作成する]を選択した場合	12
[一覧から選択する]を選択した場合	15
4-4 表紙を挿入する	16
4-5 ページフォームを変更する	17
4-6 余白にする	18
4-7 写真を削除する	18
4-8 エリアフォームを変更する	20
5. コマンドバー(より高度な編集)	21
5-1 コマンドバー(より高度な編集)の機能	21
6. ガイドバー(アルバム作成)	22
6-1 写真管理を起動して写真を取り込む	23
6-2 エクスプローラーを起動して写真を取り込む	24
6-3 文字を入力する	25
6-4 引き出し文字を入力する	26
6-5 印刷イメージを表示する	27
6-6 アルバムを印刷する	28
6-7 アルバム編集を終了する	30

7. ガイドバー(より高度な編集)	31
7-1 画像枠を配置する	32
7-2 表を配置する	34
「項目名」の列を設定する	34
列を挿入(複写)する	35
2列目を「情報」に変更する	36
用紙に表を配置する	36
7-3 表を訂正する	38
7-4 画像を編集する	39
7-5 文字を入力する	41
7-6 引き出し文字を入力する	42
7-7 線分を入力する	43
7-8 より高度な編集を終了する	44

1 画面まわりの解説

アルバム編集の画面まわりのコマンドや機能について解説します。

次ページより、グループごとに解説しています。(解説ページは、下図参照)

記載されていないコマンド、および各操作方法や機能の詳細については、ヘルプを参照してください。

1-1 各部の名称と主な機能

メニューバー

各種コマンドが機能別にメニューグループ化され用意されています。ガイドバーやコマンドバーなど、他のグループに配置されているコマンドの大部分が格納されています。

コマンドバー(アルバム作成) (P.10)

元に戻す・やり直し、ページの操作、写真枠(エリア)の操作などを行います。
[より高度な編集]のときは、コマンドバー(より高度な編集)に切り替わります。

コマンドバー(より高度な編集)(P.21)

アルバムイメージビュー (P.4)

実際のアルバムデータを編集するビューです。



ガイドバー(アルバム作成)(P.22)

よく使用するコマンドが抜粋されています。ガイドバーの[高度編集]をクリックすると、ガイドバー(より高度な編集)に切り替わります。

[設定]—[編集モード]—[アルバム作成]
[より高度な編集]で表示されるコマンドを切り替えることもできます。

ガイドバー(より高度な編集)(P.31)

ページツリー (P.2)

アルバムのページがツリー表示されます。

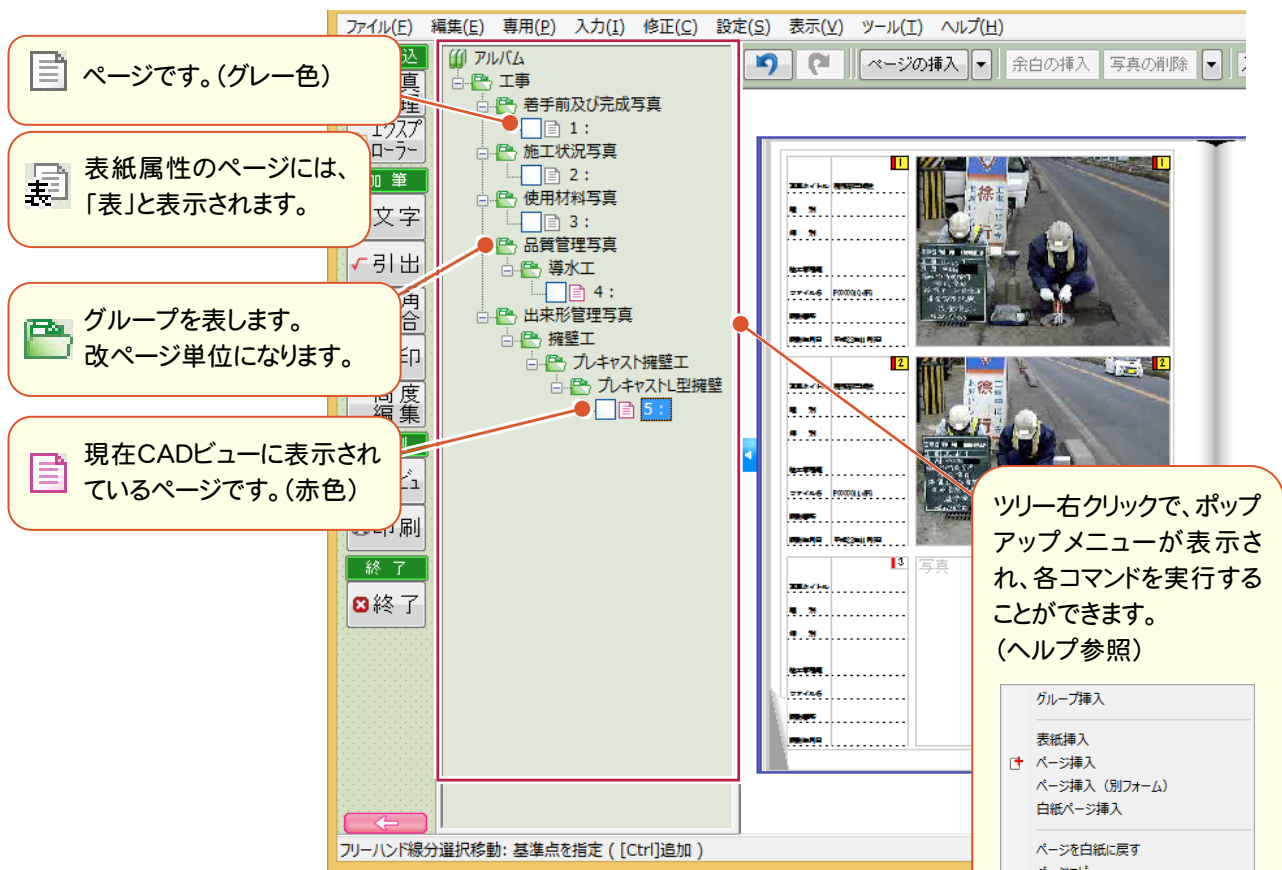
ステータスバー

選択されているコマンドの簡単な操作解説、CADビューに表示されているページ、現在の選択モードなどを表示します。

2 ページツリー

アルバム内のページがツリー表示されます。

2-1 ページツリーの機能



- ページです。(グレー色)
- 表紙属性のページには、「表」と表示されます。
- グループを表します。改ページ単位になります。
- 現在CADビューに表示されているページです。(赤色)

ツリー右クリックで、ポップアップメニューが表示され、各コマンドを実行することができます。(ヘルプ参照)

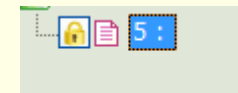
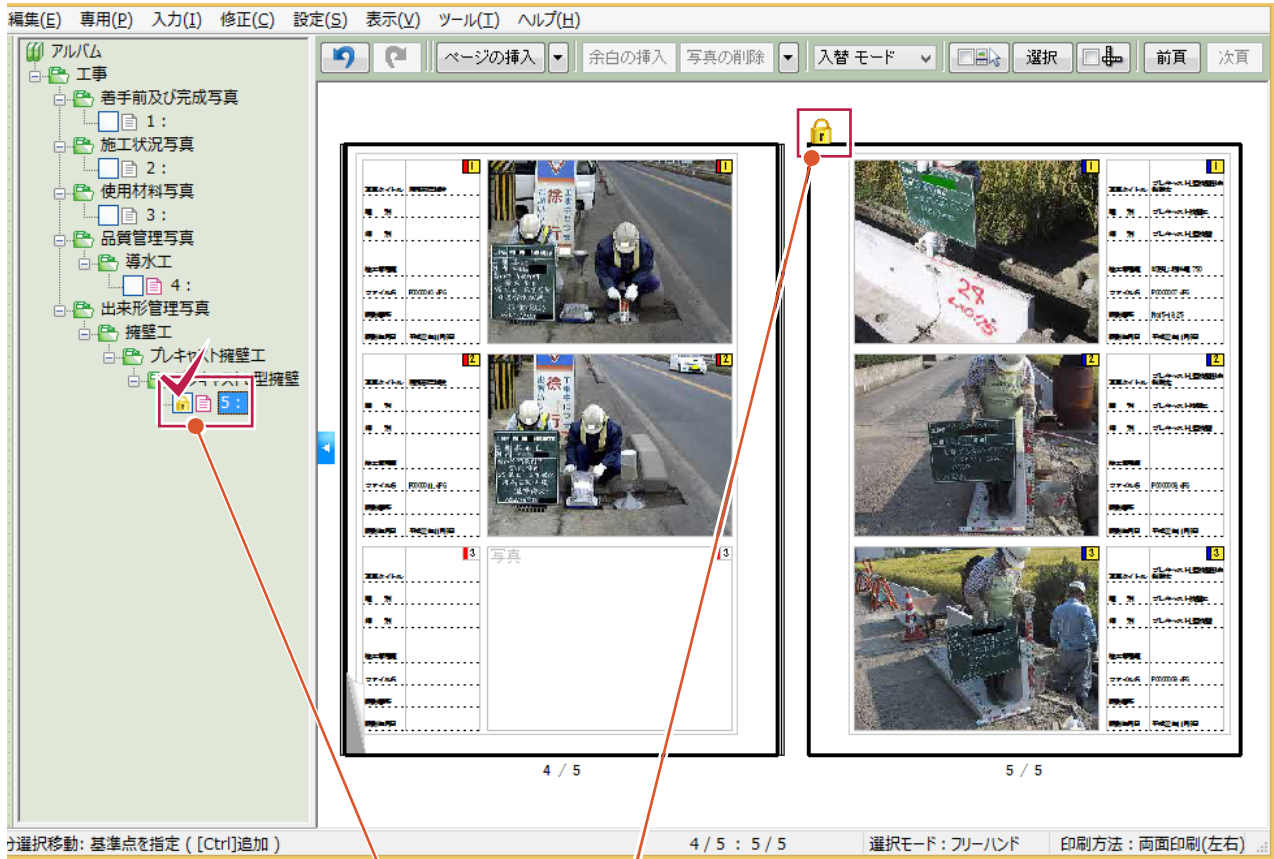
グループ挿入	
表紙挿入	
ページ挿入	
ページ挿入 (別フォーム)	
白紙ページ挿入	
ページを白紙に戻す	
ページコピー	
ページ貼り付け	
削除	
一括削除	
名称変更	
一つ上へ移動	Ctrl+↑
一つ下へ移動	Ctrl+↓
用紙設定	
レイアウト一括適用	

ドラッグ&ドロップ
 グループ・ページの順番を、ドラッグ&ドロップで入れ替えることができます。グループをドラッグ&ドロップした場合、そのグループ以下が全て移動します。グループ内にドラッグ&ドロップした場合、その子供の最後に移動します。ページは、ページ上にドラッグ&ドロップできません。

ダブルクリック操作
 ページをダブルクリックした場合、「名称変更」になります。

グループ内のエリアに、エリアの挿入・削除等の操作が行われた場合、影響を受けるページは、グループ単位となります。

例) 画面の「プレキャスト擁壁工」グループ以下のページ内にエリアを挿入した場合。
 ↓↓↓
 「プレキャスト擁壁工」グループの最後に新規ページが追加されます。他のグループ以降に影響はありません。
 各ページには、全体を通してのページ番号が表示されます。

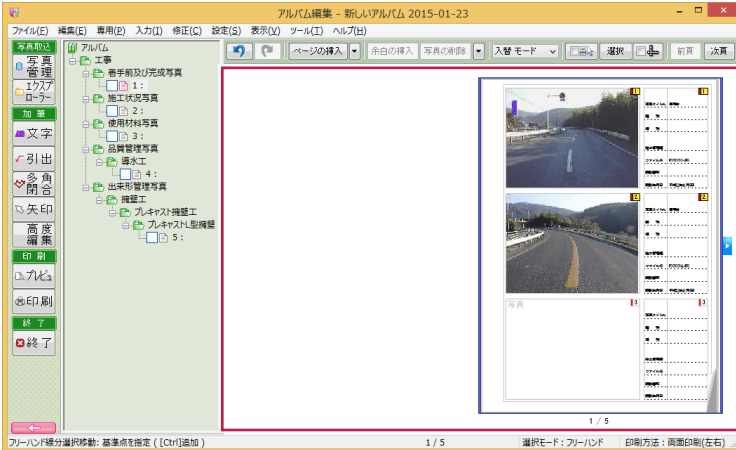


クリックすると、鍵マークが表示されページがロックされます。ロックページとは、ページ送りなどで移動せず、固定で表示されているページです。ロックページは、「2ページ表示」時のみ有効です。「1ページ表示」時には使用できません。


3 アルバムイメージビュー

実際のアルバムデータを編集するビューです。
ページツリーで選択されているページが表示されます。


3-1 アルバムイメージビューの機能



マウス中ボタンを押したとき

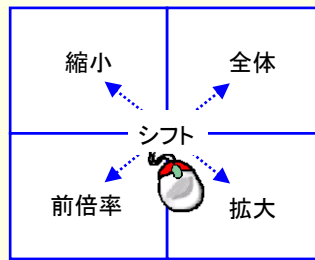
マウスポインタが  になります。この状態でドラッグすると画面の移動ができます。

画面シフト

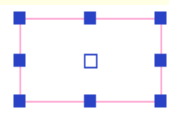

 CAD画面の端にマウスを移動すると、マウスポインタに三角のマークが表示されます。このとき右クリックすると画面がシフトします。

両ボタンドラッグ操作

プレビュー画面における拡大・縮小などの表示範囲の切り替えは、両ボタンドラッグ（マウスの左右のボタンを両方とも押した状態で、任意の位置や方向にドラッグすること）でおこなうことができます。



データ選択時の移動・サイズ変更 (より高度な編集の場合)

データを選択すると、「□」「■」が表示されます。
 「□」をドラッグすると、データが移動できます。
 「■」をドラッグすると、サイズが変更できます。

ポップアップメニュー

OK	Enter
後退	Backspace
取消	Esc
中止	Ctrl+Q
拡大	Space
シフト	
作図範囲に戻す	
再描画	
 元に戻す	Ctrl+Z
 やり直し	Ctrl+Y
複写	
移動	
削除	Delete
 表の訂正	
セルの訂正	
表・セルのコピー	Ctrl+C
表・セルの貼り付け	Ctrl+V
画像枠関連付け	
画像枠関連付け解除	

- [OK]・・・操作を確定します。
- [後退]・・・一つ前の操作に戻ります。
- [取消]・・・確定前の操作を取り消します。
- [中止]・・・実行中のコマンドを終了します。
- [拡大]・・・対角の2点指定で範囲を拡大します。
- [シフト]・・・移動後の中心の位置を指定して表示範囲を移動します。
- [作図範囲に戻す]・・・ページ全体を表示します。
- [再描画]・・・画面を表示し直します。
- [元に戻す]・・・直前におこなった操作を元の状態に戻します。
- [やり直し]・・・[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
- [複写]・・・データを複写します。
- [移動]・・・データを移動します。
- [削除]・・・データを削除します。
- [表の訂正]・・・選択した表を訂正します。
- [セルの訂正]・・・表のセルの内容を直接編集することができます。
- [表・セルのコピー]・・・表・セルをコピーします。
- [表・セルの貼り付け]・・・表・セルを貼り付けます。
- [画像枠関連付け]・・・画像枠を関連付けます。
- [画像枠関連付け解除]・・・画像枠の関連付けを解除します。

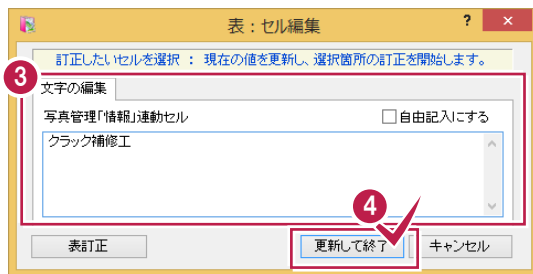
3-2 セルに文字を入力する

セルに文字を入力します。

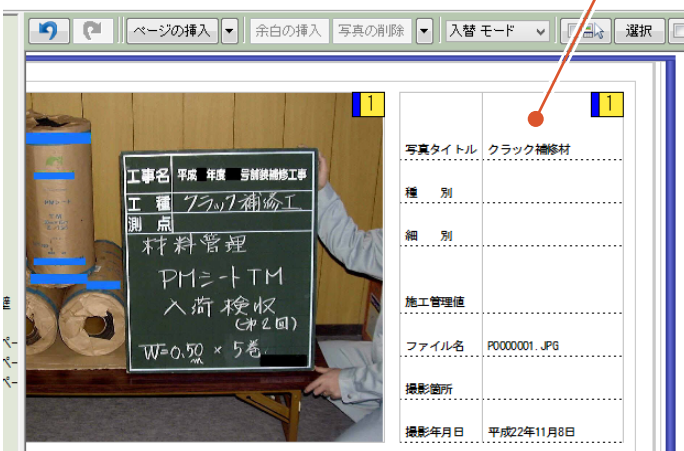


- 1 ページを選択します。
- 2 文字を入力するセルをダブルクリックします。

- 3 文字を入力します。
- 4 [更新して終了]をクリックします。



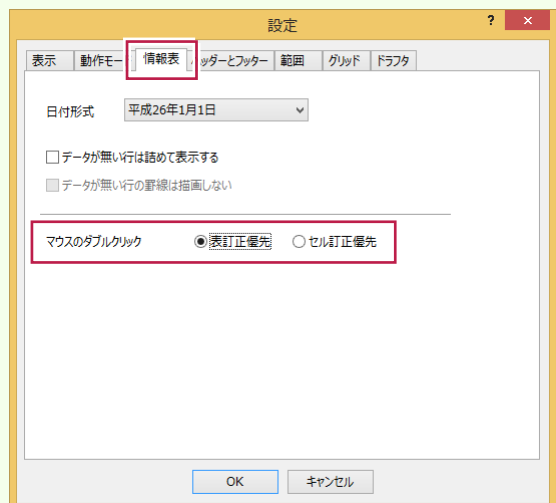
文字が入力
されます。



メモ

情報表をダブルクリックしたときは

[設定] - [設定]の[情報表]タブの[マウスのダブルクリック]で[セル訂正優先]が選択されているときは、[表:セル編集]ダイアログが開きます。[表訂正優先]が選択されているときは、[表]ダイアログが表示されます。



3-3 セルの属性を訂正する

セルの属性を訂正します。ここでは、以下の3つの操作を解説します。

- ①文字を赤色にして、取り消し線を付ける
- ②文字を枠内に納める
- ③項目名を中央で揃える

①文字を赤色にして、取り消し線を付ける



1 文字を訂正するセルをクリックします。



文字が赤色になり、取り消し線が付けられます。

2 [取り消し線]のアイコンをクリックしてオンにします。

3 [色]を赤にします。

②文字を枠内に納める

テキスト属性

フォント名 MSゴシック

スタイル B I U

サイズ 3.0

色

配置位置 横

縦

文字の取め方 枠内で折り返す

文字間隔 0.0

行間隔 0.0

余白 横 1.5

縦 1.0

枠属性

背景の色 塗りつぶす

背景の透過 なし

※表示する項目を変更したい場合は、右クリックから「表の訂正」を実行してください。

プレキャストL型擁壁出来形測定

種別 プレキャスト擁壁工

細別 プレキャストL型擁壁

施工管理値 切筋L-総材値-750

ファイル名 P0000009.JPG

撮影箇所

撮影年月日 平成22年11月8日

5 / 8

1 文字を訂正するセルをクリックします。



テキスト属性

フォント名 MSゴシック

スタイル B I U

サイズ 3.0

色

配置位置 横

縦

文字の取め方 文字を小さくして枠内に収める

文字間隔 0.0

行間隔 0.0

余白 横 1.5

縦 1.0

枠属性

背景の色 塗りつぶす

背景の透過 なし

※表示する項目を変更したい場合は、右クリックから「表の訂正」を実行してください。

プレキャストL型擁壁出来形測定

種別 プレキャスト擁壁工

細別 プレキャストL型擁壁

施工管理値 切筋L-総材値-750

ファイル名 P0000009.JPG

撮影箇所

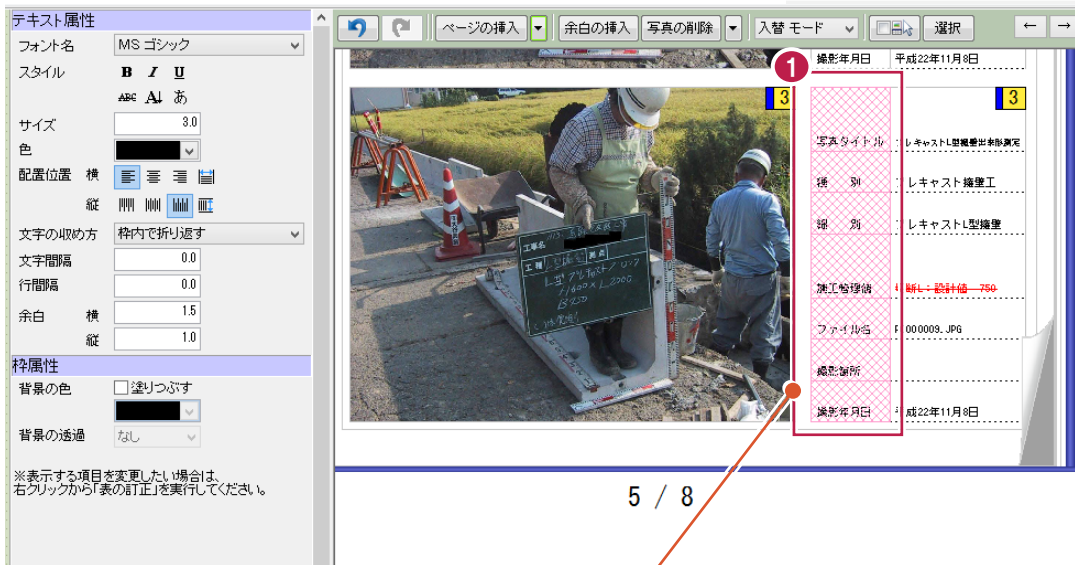
撮影年月日 平成22年11月8日

5 / 8

文字が小さくなって枠内に収まります。

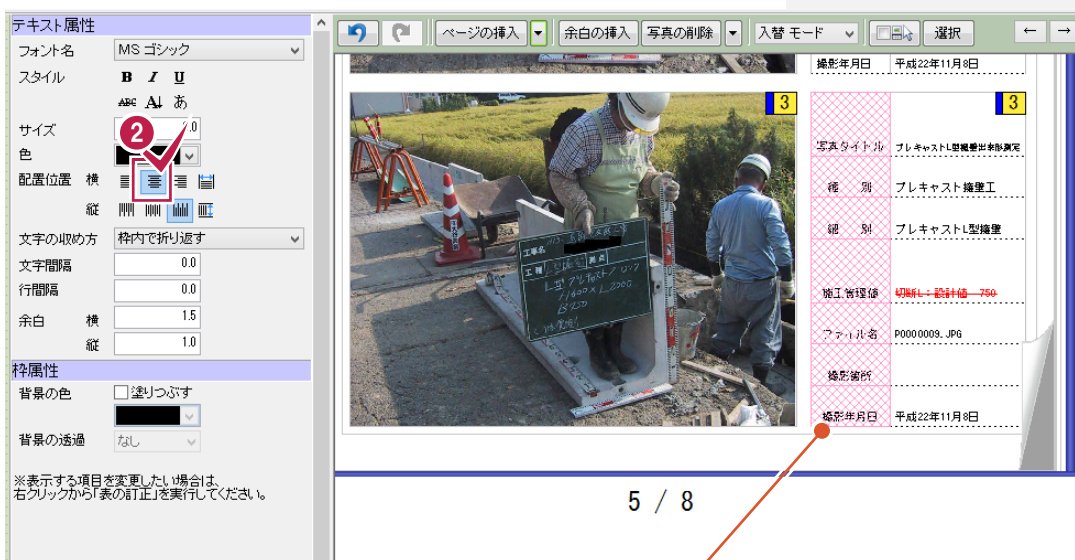
2 [文字の取め方]で「文字を小さくして枠内に収める」を選択します。

③項目名を中央で揃える



Ctrlキーを押しながら
クリックすると複数選択
できます。

1 項目名を揃えるセルを選択します。



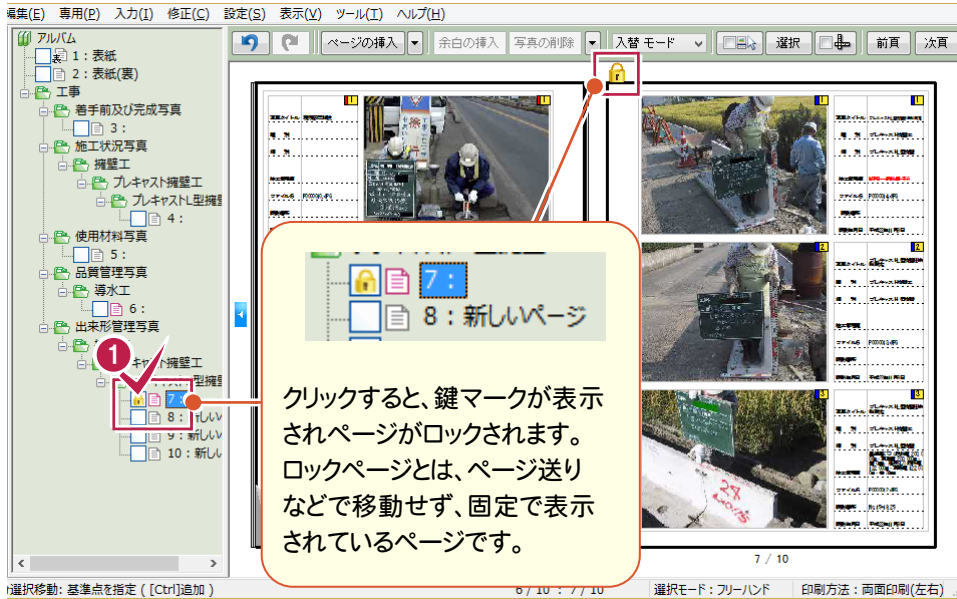
項目名が中央で
揃えられます。

2 [配置位置]の[横]の[中央揃え]の
アイコンをクリックしてオンにします。

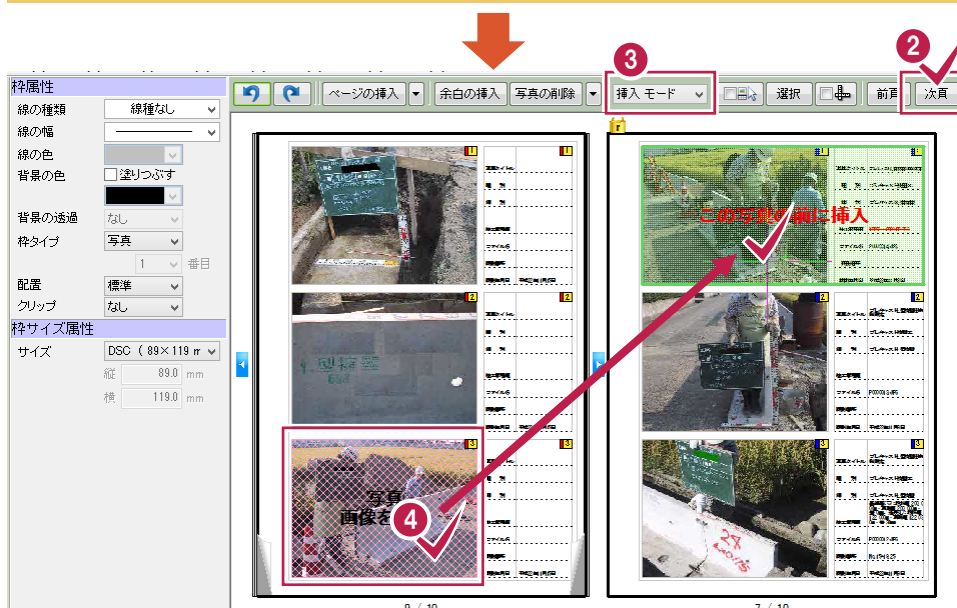
3-4 写真を挿入する

写真を挿入します。

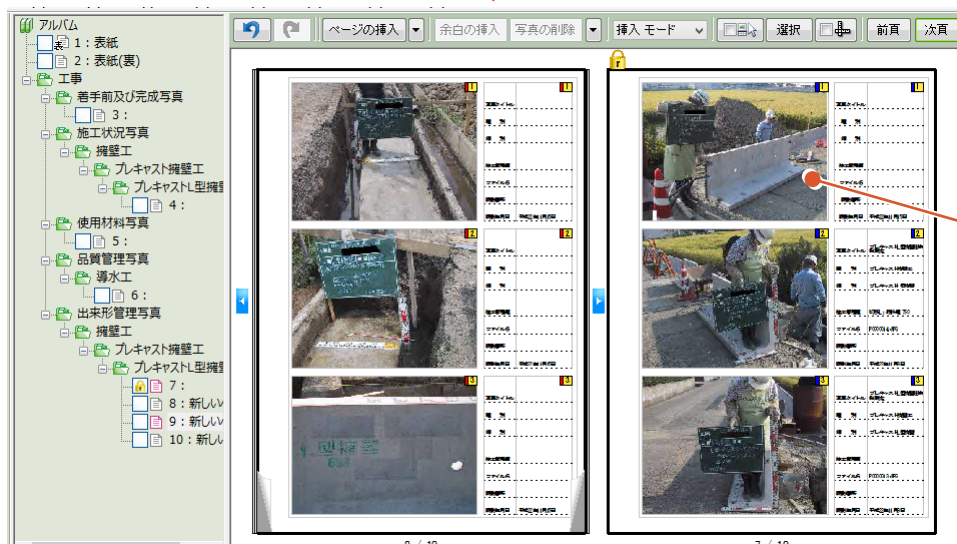
操作例では、7ページを固定して、7ページの写真の前に9ページの1番下の写真を挿入します。



- 1 写真を挿入するページのチェックをクリックして、ページをロックします。ロックされているときは、鍵マークが表示されます。



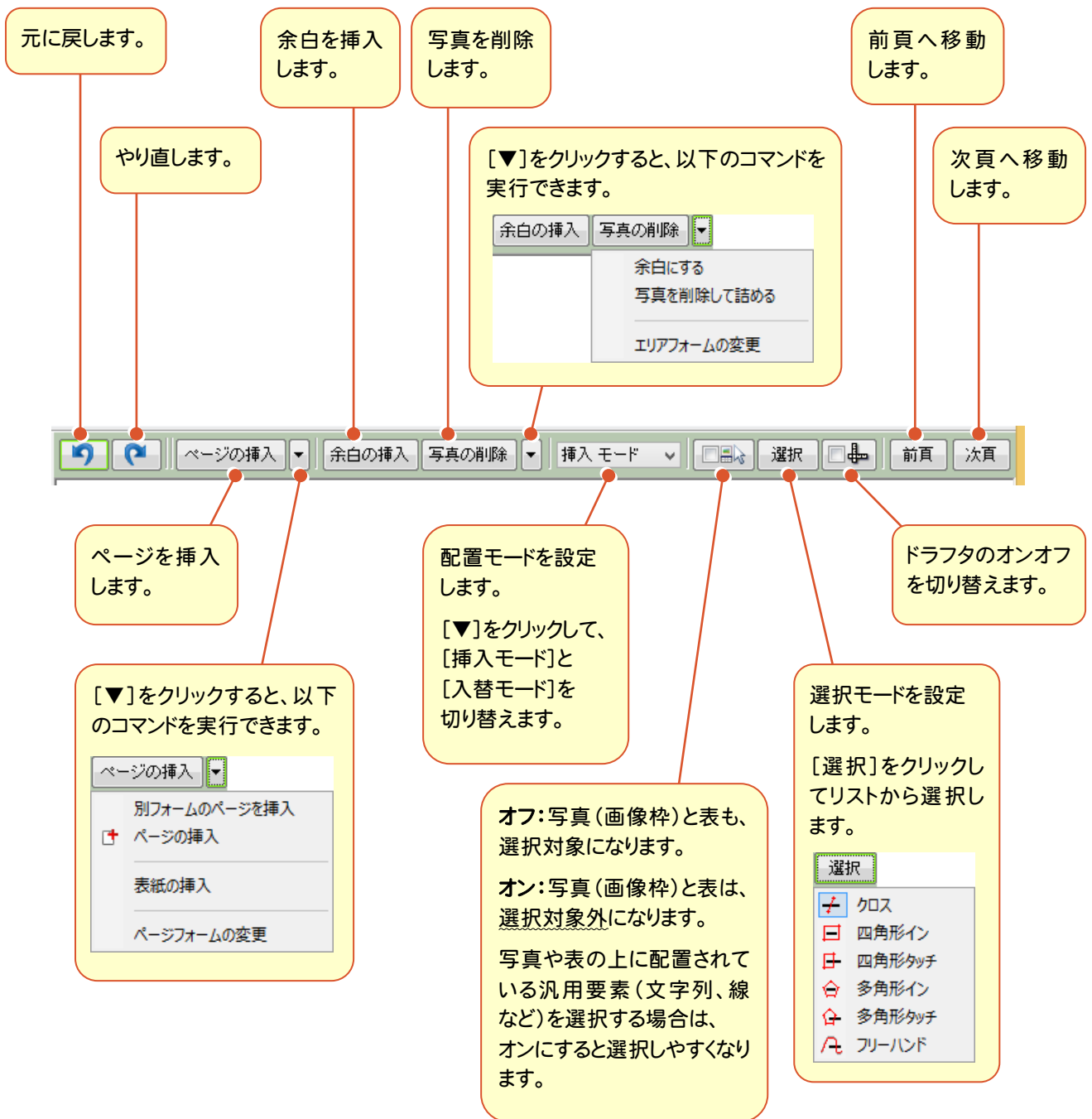
- 2 [次頁]をクリックして、挿入する写真のページを表示します。
- 3 [挿入モード]を選択します。
- 4 挿入する写真を選択して、挿入する場所までドラッグ&ドロップします。



4 コマンドバー(アルバム作成)

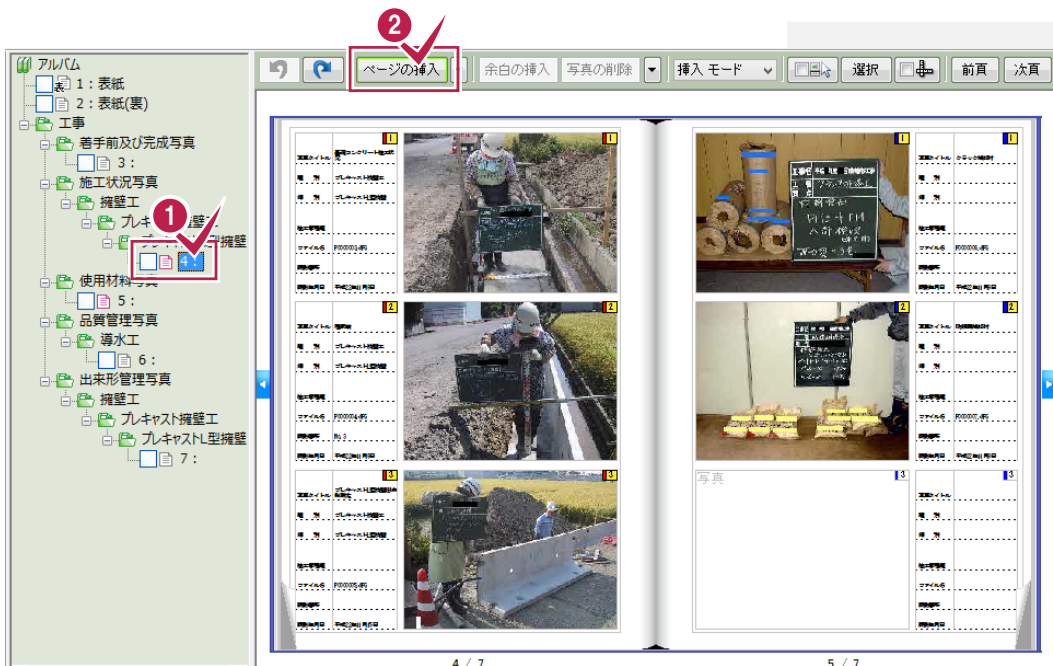
元に戻す・やり直し、ページの操作、写真枠(エリア)の操作などを行います。

4-1 コマンドバー(アルバム作成)の機能

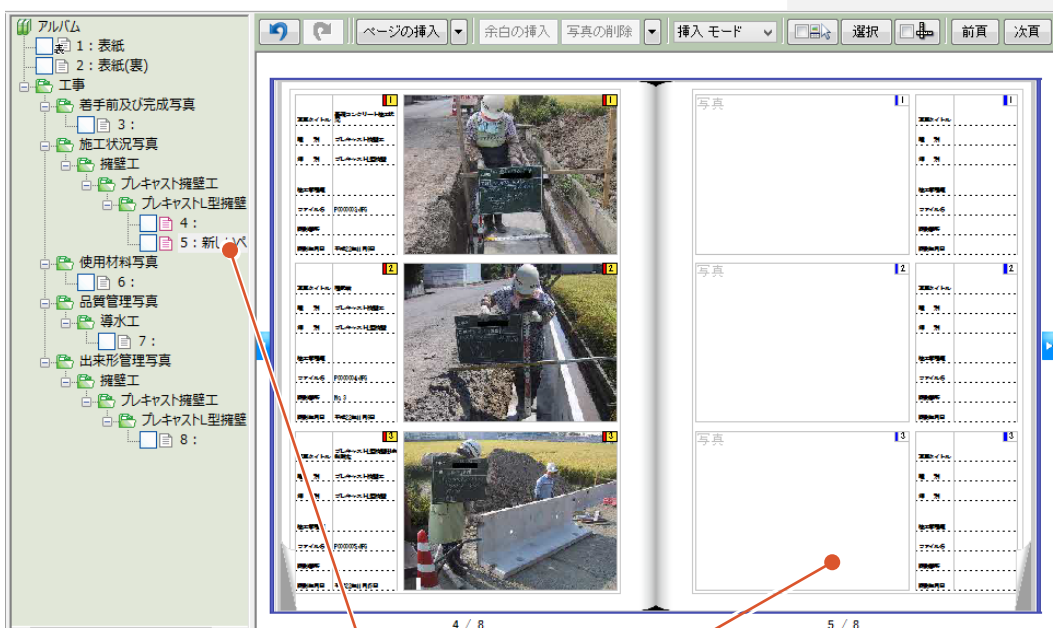


4-2 ページを挿入する

ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、ページを挿入します。



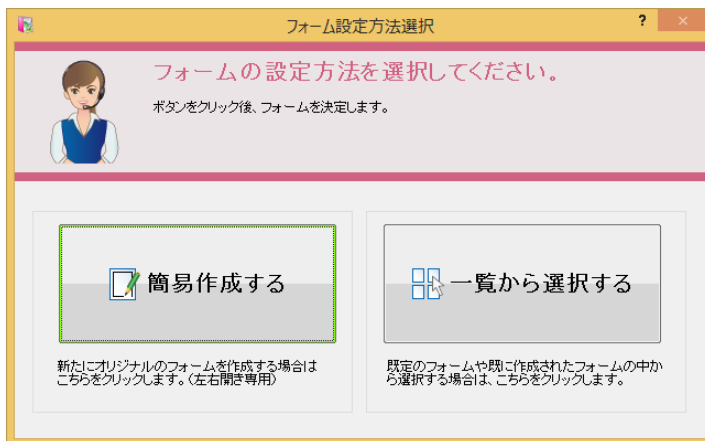
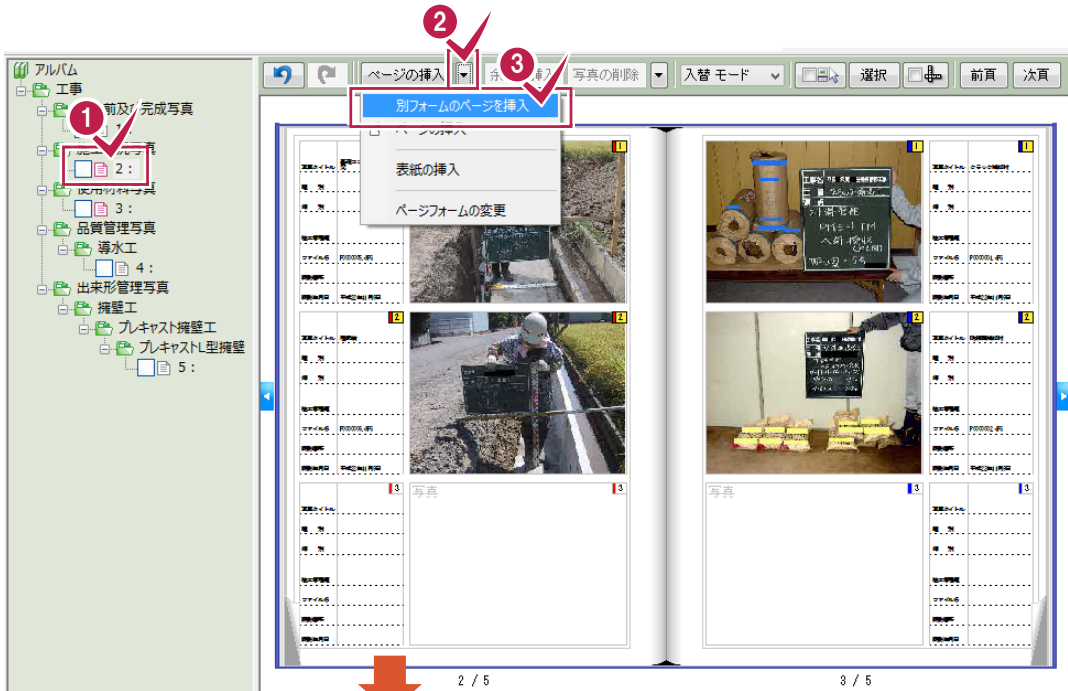
- 1 ページを選択します。
- 2 [ページの挿入]をクリックします。



選択したページの直後に、
ページが挿入されます。

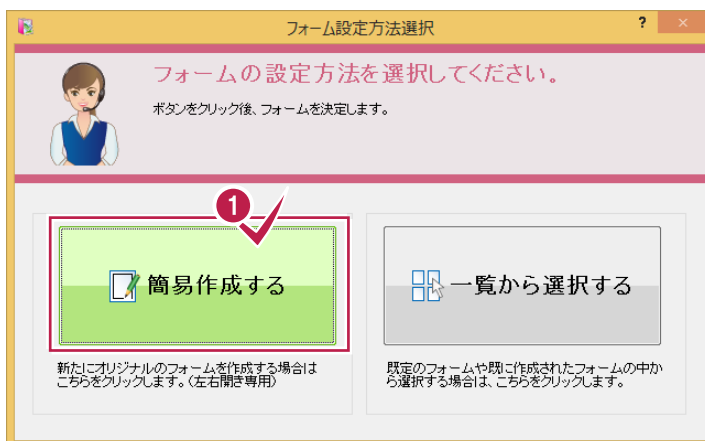
4-3 別フォームのページを挿入する

ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、フォームを選択してページを挿入します。



- 1 ページを選択します。
- 2 [ページの挿入]の横の[▼]をクリックします。
- 3 [別フォームのページを挿入]をクリックします。

[簡易作成する]を選択した場合



- 1 [簡易作成する]をクリックします。

別フォームを設定してページ挿入

挿入したいフォームを設定してください。
作成したフォームを、指定したページ数分挿入します。
以降の「ページ挿入」でも今回作成したフォームを利用する場合、「ページ挿入時も作成フォームを利用する」にチェックをつけてください。

印刷方法
 片面印刷
 両面印刷

用紙サイズ
 A3横
 A4縦

写真枚数
 2枚
 3枚

表の位置
 内表
 外表

写真情報表
 項目名を表示する
 表示する項目の設定

表の有無
 施工管理値表あり
 参考図枠あり

施工管理値表
 項目数 4
 項目名を表示する
 差を表示する

罫線
 外枠
 下線のみ
 線種 実線

挿入ページ数: 1 ページ挿入時も作成フォームを利用する

OK キャンセル

写真情報表項目設定

表示可能な項目
 <空行>
 シリアル番号
 写真ファイル名
 写真ファイル日本語名
 写真ファイル情報予備
 写真大分類
 工機区分子名
 参考図ファイル名
 参考図ファイル日本語名
 参考図タイトル
 付加情報予備
 撮影年月日
 撮影情報予備
 施工管理値
 施工管理値予備
 状況説明予備
 読取者説明文
 写真情報予備
 ユーザー項目 01
 ユーザー項目 02
 ユーザー項目 03
 ユーザー項目 04
 ユーザー項目 05
 ユーザー項目 06
 ユーザー項目 07
 ユーザー項目 08
 ユーザー項目 09
 ユーザー項目 10

表示する項目
 工機
 種別
 写真区分
 写真タイトル
 撮影箇所

表示する項目名

OK キャンセル

別フォームを設定してページ挿入

挿入したいフォームを設定してください。
作成したフォームを、指定したページ数分挿入します。
以降の「ページ挿入」でも今回作成したフォームを利用する場合、「ページ挿入時も作成フォームを利用する」にチェックをつけてください。

印刷方法
 片面印刷
 両面印刷

用紙サイズ
 A3横
 A4縦

写真枚数
 2枚
 3枚

表の位置
 内表
 外表

写真情報表
 項目名を表示する
 表示する項目の設定

表の有無
 施工管理値表あり
 参考図枠あり

施工管理値表
 項目数 4
 項目名を表示する
 差を表示する

罫線
 外枠
 下線のみ
 線種 実線

挿入ページ数: 1 ページ挿入時も作成フォームを利用する

OK キャンセル

2 印刷方法、写真枚数、表の位置を設定します。

3 ここでは、写真情報表の[項目名を表示する]のチェックをオンにして、[表示する項目の設定]をクリックします。

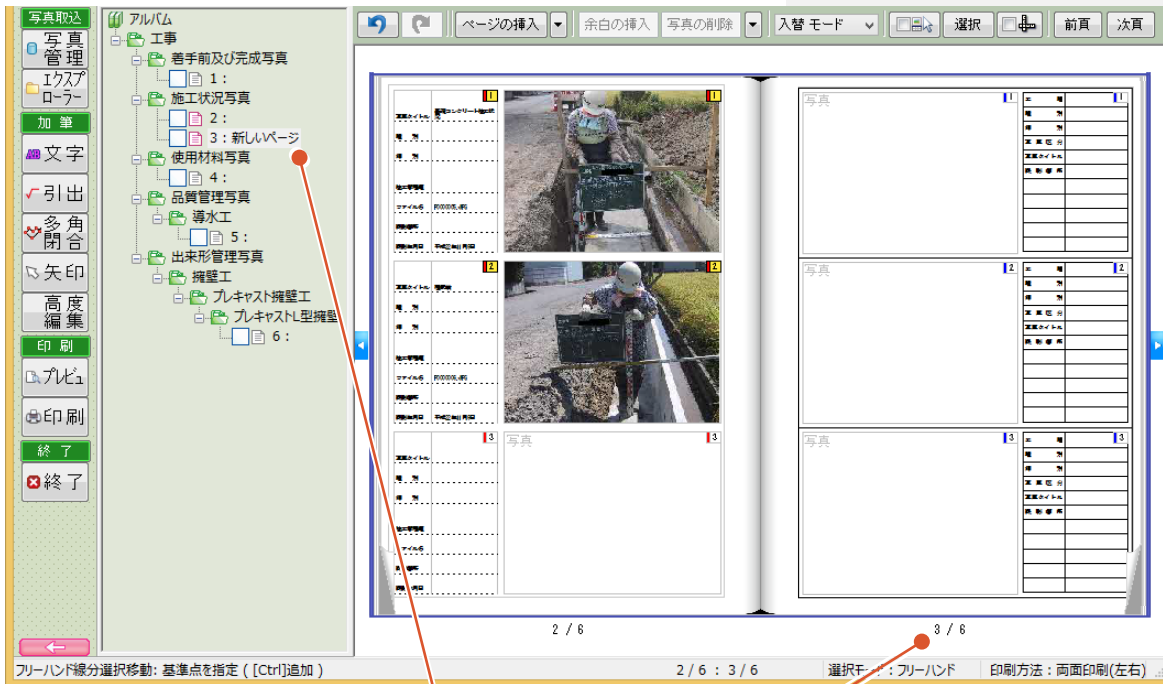
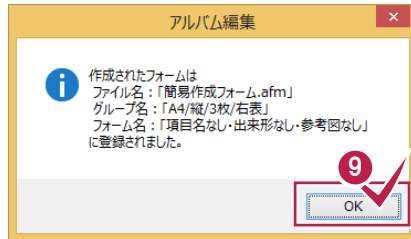
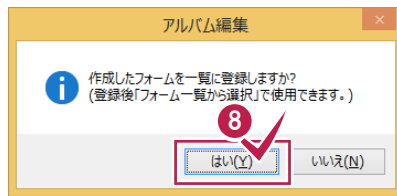
4 表示する項目を設定します。

5 [OK]をクリックします。

6 挿入ページ数を入力します。

7 [OK]をクリックします。

4. コマンドバー(アルバム作成)

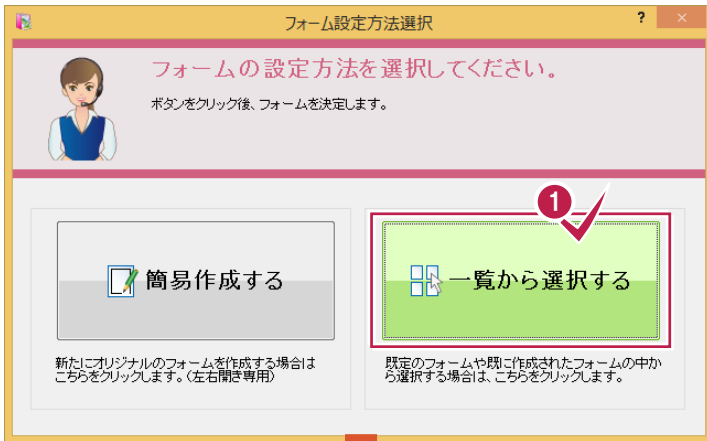


8 ここでは、[はい]をクリックします。

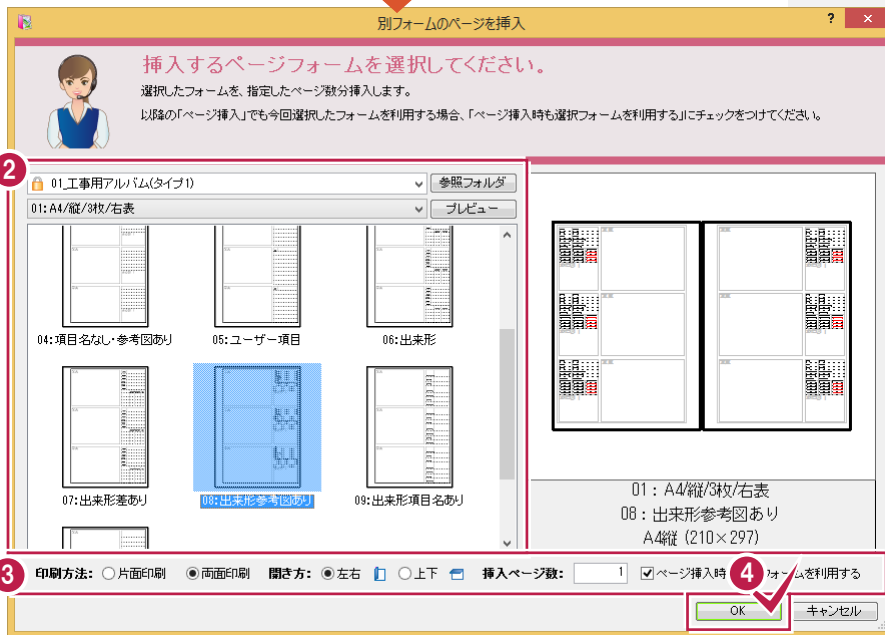
9 [OK]をクリックします。

選択したページの直後に、
指定したフォームのページ
が挿入されます。

[一覧から選択する]を選択した場合



1 [一覧から選択する]をクリックします。



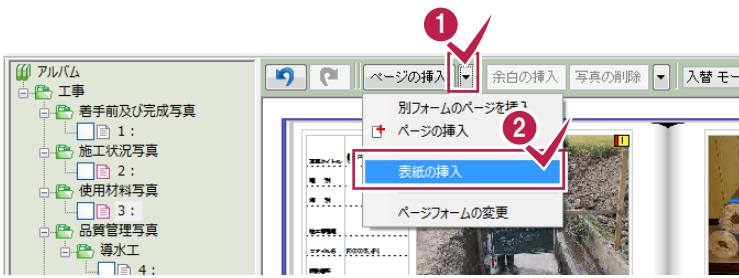
- 2 フォームを選択します。
- 3 印刷方法、挿入ページ数を設定します。
- 4 [OK]をクリックします。



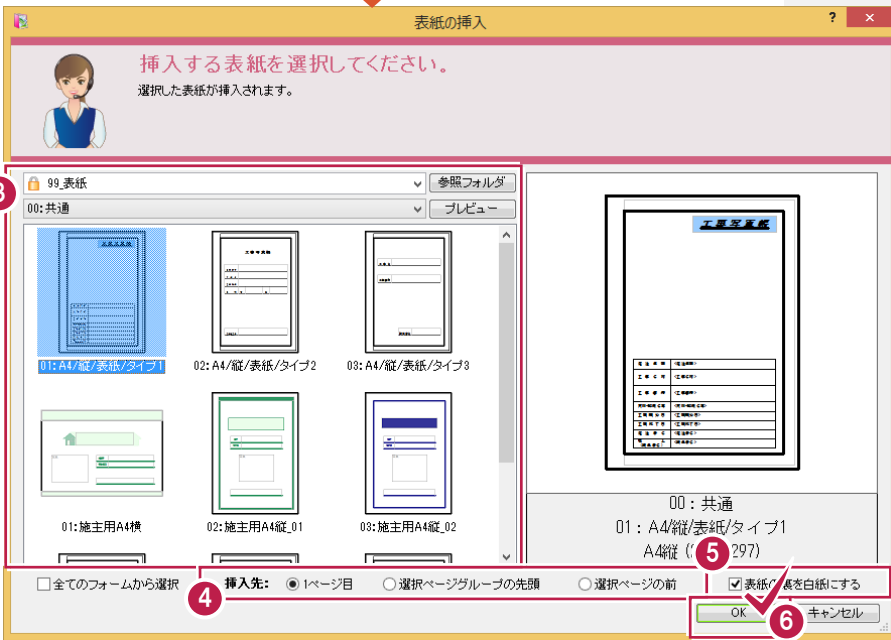
選択したページの直後に、
指定したフォームのページ
が挿入されます。

4-4 表紙を挿入する

アルバムに表紙を挿入します。

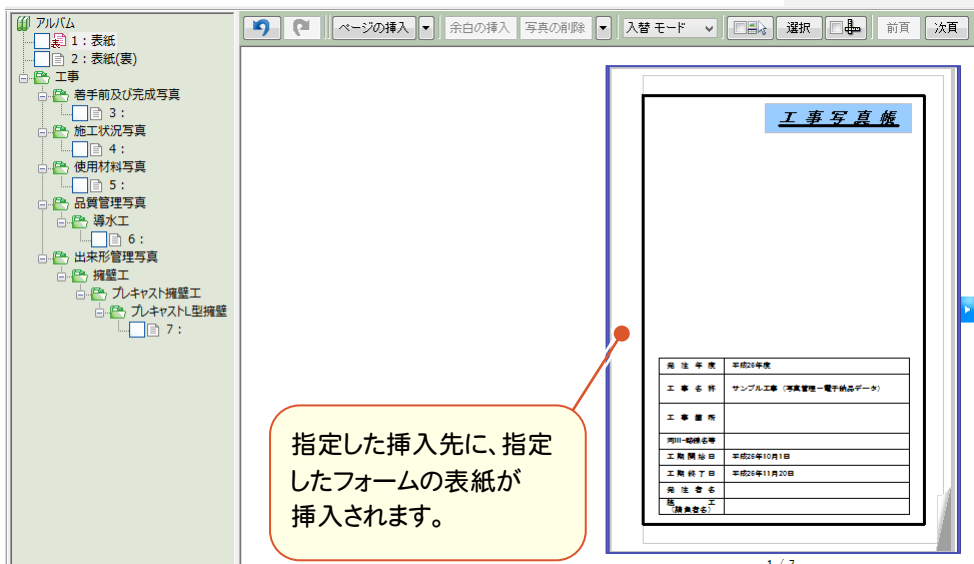


- 1 [ページの挿入]の横の[▼]をクリックします。
- 2 [表紙の挿入]をクリックします。



- 3 表紙のフォームを選択します。
- 4 挿入先を選択します。
- 5 表紙の裏を白紙にするかしないかを設定します。
- 6 [OK]をクリックします。

指定した挿入先に、指定したフォームの表紙が挿入されます。



4-5 ページフォームを変更する

ページのフォームを、別のフォームに変更します。

1 [ページの挿入]の横の[▼]をクリックします。

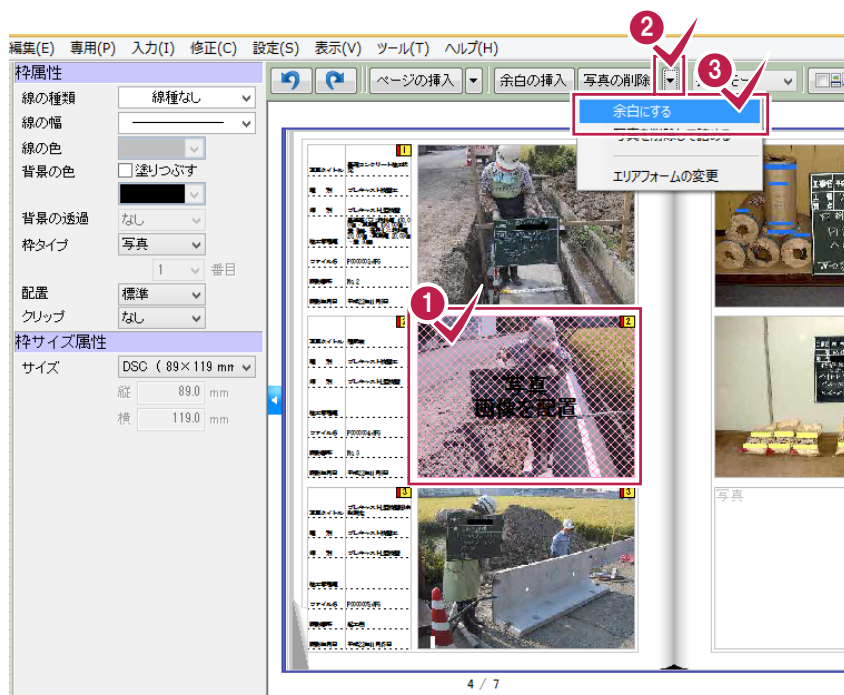
2 [ページフォームの変更]をクリックします。

3 フォームを選択して、変更するページまでドラッグ&ドロップします。

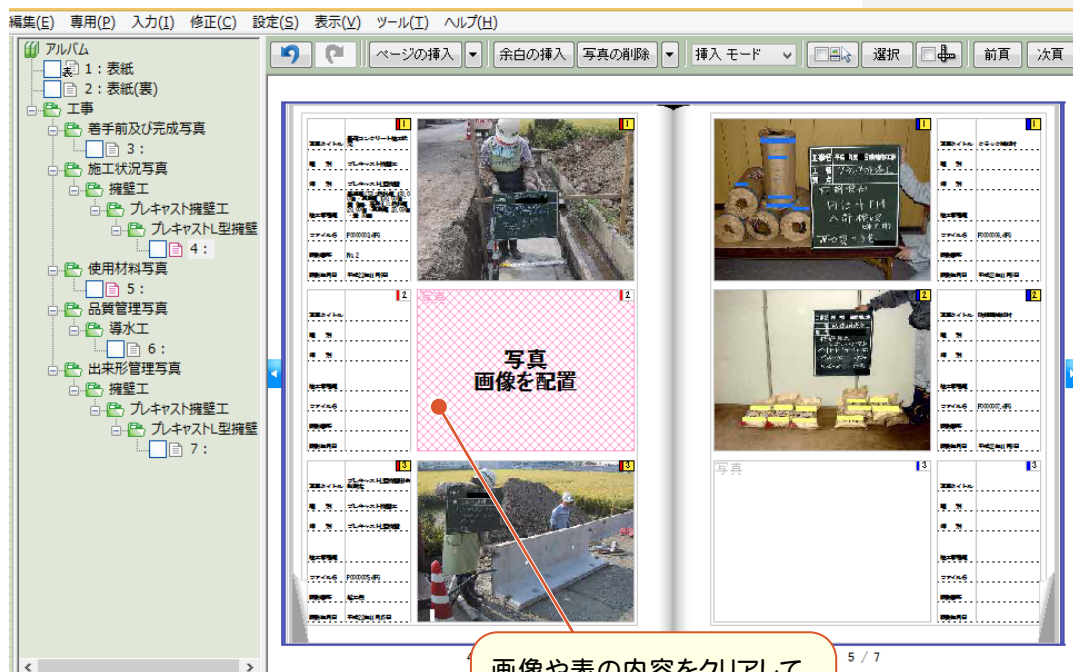
ページのフォームが変更されます。

4-6 余白にする

選択エリアの画像や表の内容をクリアして、余白にします。
ただし表内の設定(項目名など)はクリアされません。



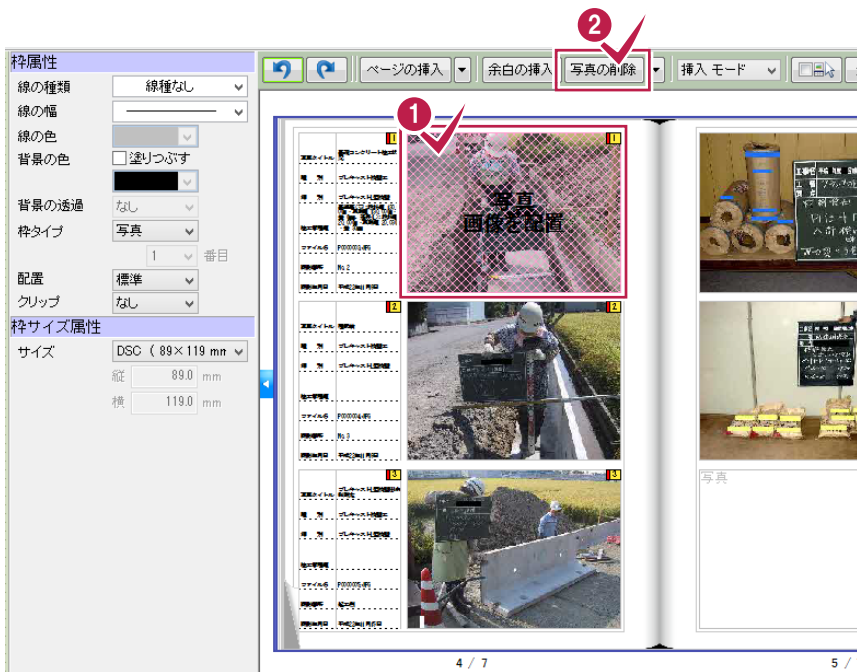
- 1 余白にする画像をクリックします。
- 2 [写真の削除]の横の[▼]をクリックします。
- 3 [余白にする]をクリックします。



画像や表の内容をクリアして、
余白になります。

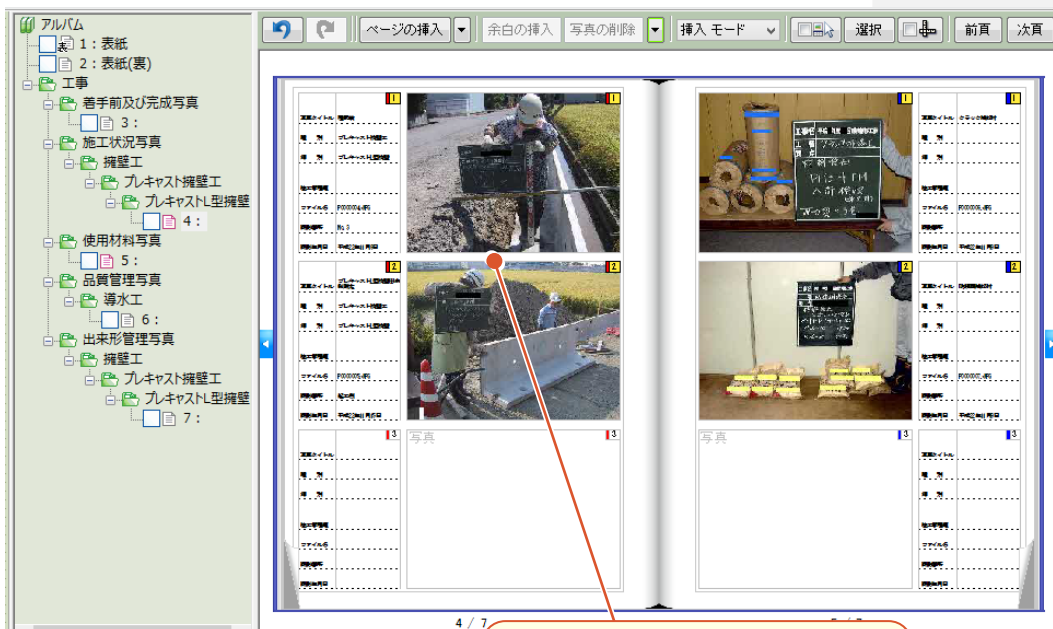
4-7 写真を削除する

選択エリア内の写真を削除して、以降の写真を詰めます。



1 削除する写真をクリックします。

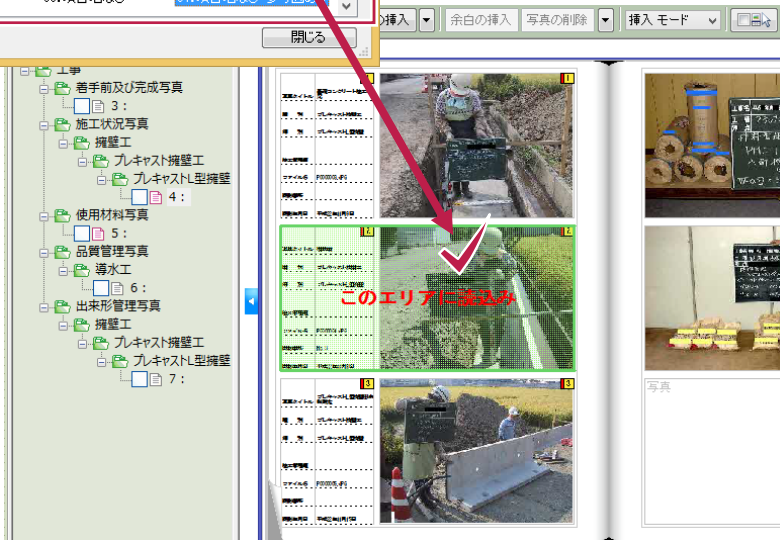
2 [写真の削除]をクリックします。



写真が削除されて、以降の写真が詰まります。

4-8 エリアフォームを変更する

エリアのフォームを、別のフォームに変更します。

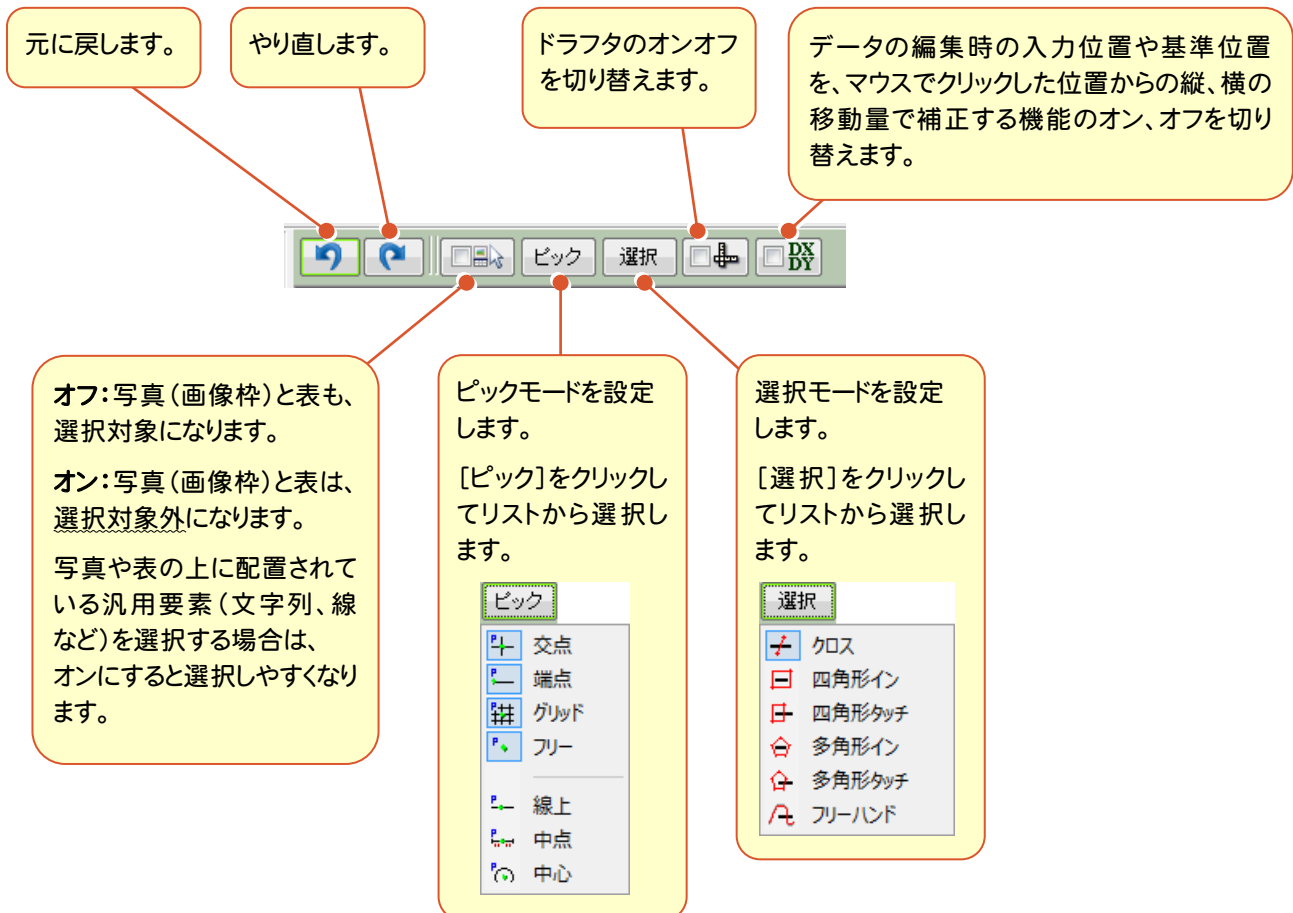


- 1 [写真の削除]の横の[▼]をクリックします。
- 2 [エリアフォームの変更]をクリックします。
- 3 フォームを選択して、変更するエリアまでドラッグ&ドロップします。

5 コマンドバー(より高度な編集)

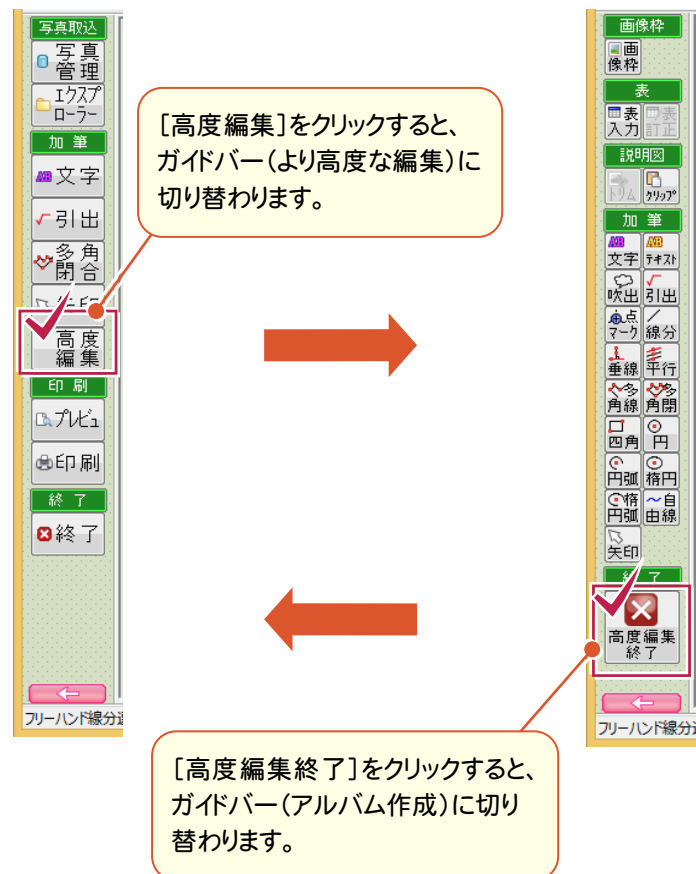
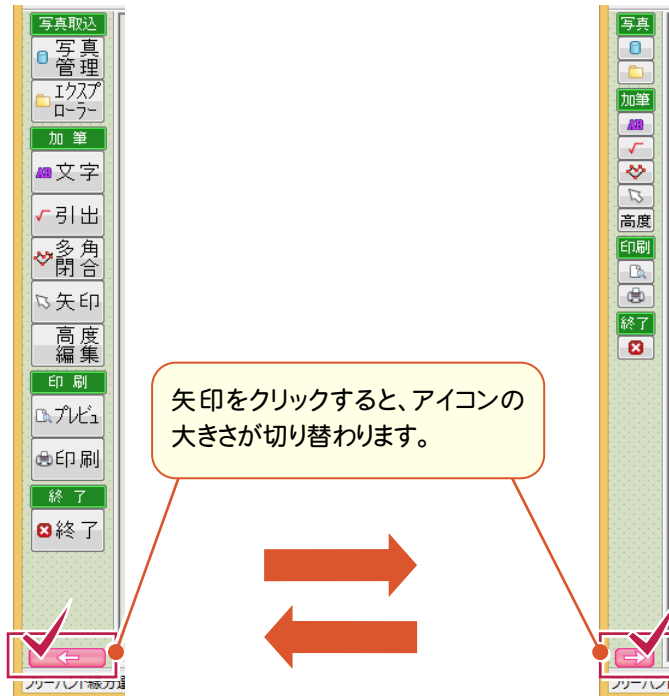
元に戻す・やり直し、ピックモード、選択モードなどの操作などを行います。

5-1 コマンドバー(より高度な編集)の機能



6 ガイダー(アルバム作成)

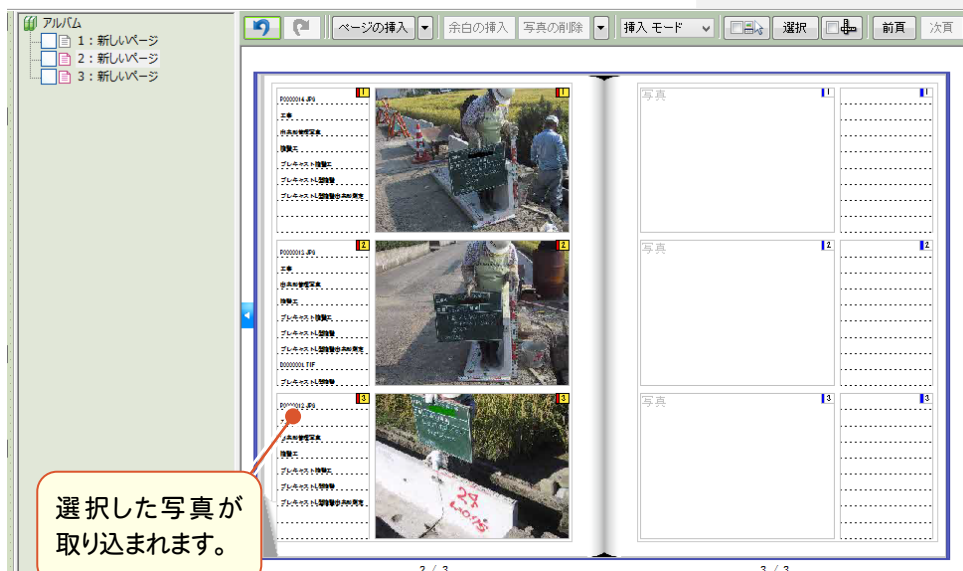
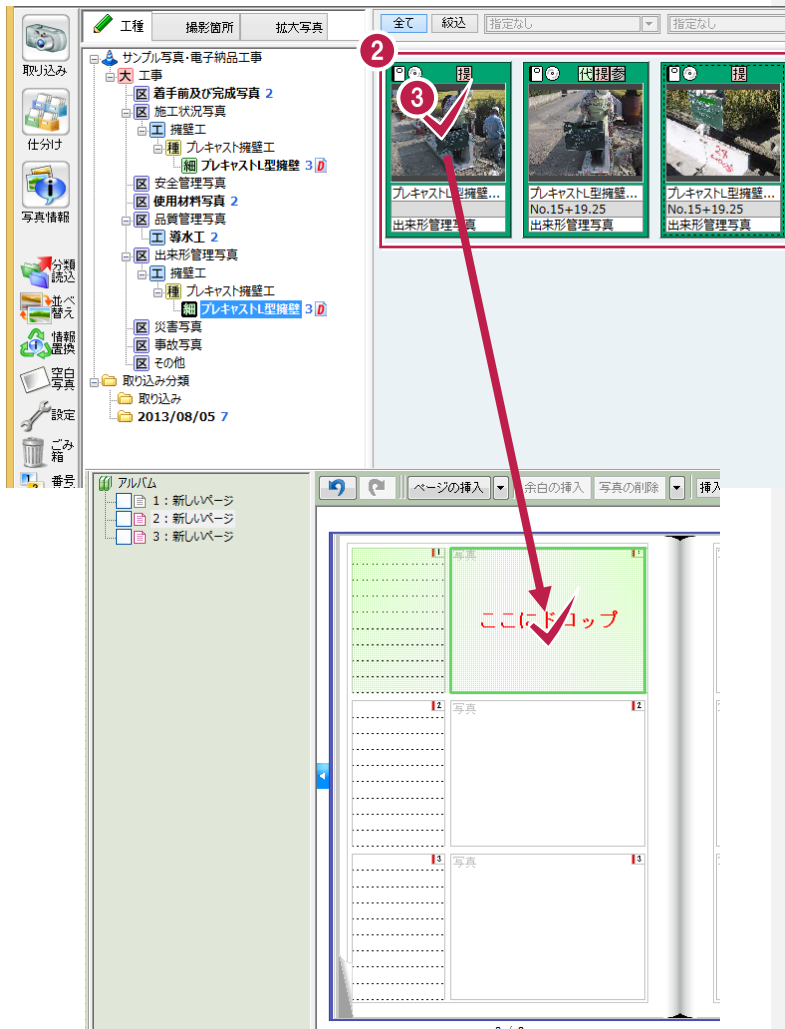
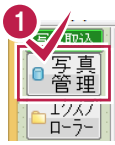
よく使用するコマンドが[写真取込][加筆][印刷][終了]に分けて配列されています。



6-1

写真管理を起動して写真を取り込む

[写真管理]を起動して、[アルバム編集]にドラッグ&ドロップで、写真や参考図を配置します。



選択した写真が
取り込まれます。

- 1 [写真管理]をクリックします。
- 2 写真管理で、取り込む写真を選択します。
- 3 写真を取り込む場所まで、ドラッグ&ドロップします。

6-2 エクスプローラーを起動して写真を取り込む

エクスプローラーを起動して、[アルバム編集]にドラッグ&ドロップで、写真や参考図を配置します。



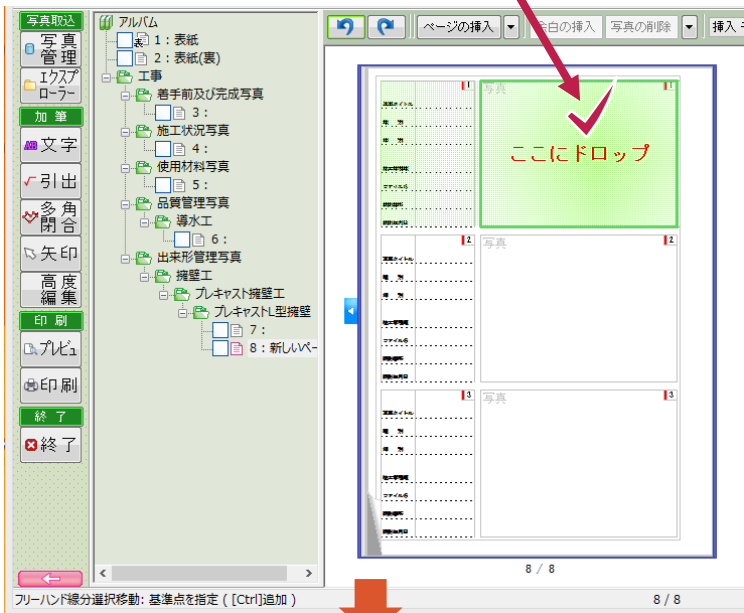
1 [エクスプローラー]をクリックします。



2 エクスプローラーで、取り込む写真の保存先を選択します。

3 取り込む写真を選択します。

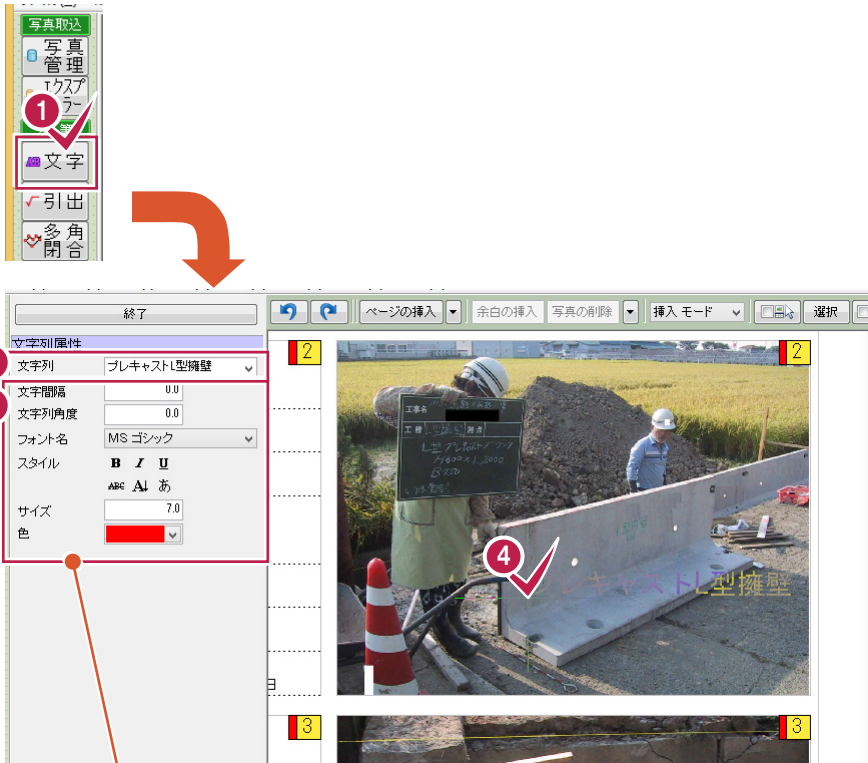
4 写真を取り込む場所まで、ドラッグ&ドロップします。



選択した写真が取り込まれます。

6-3 文字を入力する

文字を入力します。



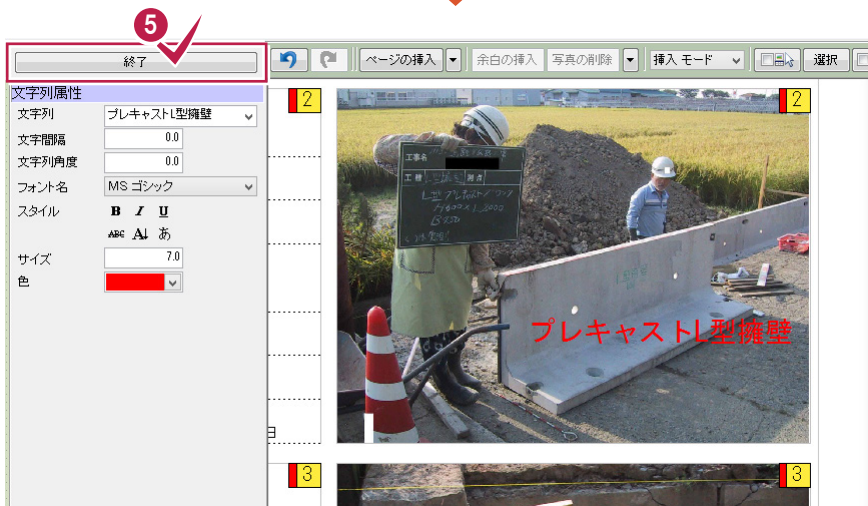
1 [文字]をクリックします。

2 [文字列]に配置する文字列を入力します。

3 文字のサイズ、色などを設定します。

4 ラバーバンドを確認しながら、文字の配置位置をクリックします。

[文字列]・・・文字列を入力します。
 [文字間隔]・・・文字の間隔を設定します。
 [文字列角度]・・・文字列を傾ける角度を設定します。
 [フォント名]・・・文字列のフォントを選択します。
 [スタイル]・・・太字・斜体・下線・取消線・縦書き・全角を指定します。
 [サイズ]・・・文字の大きさを設定します。
 [色]・・・文字の色を設定します。



5 文字の入力を終了したら、[終了]をクリックします。

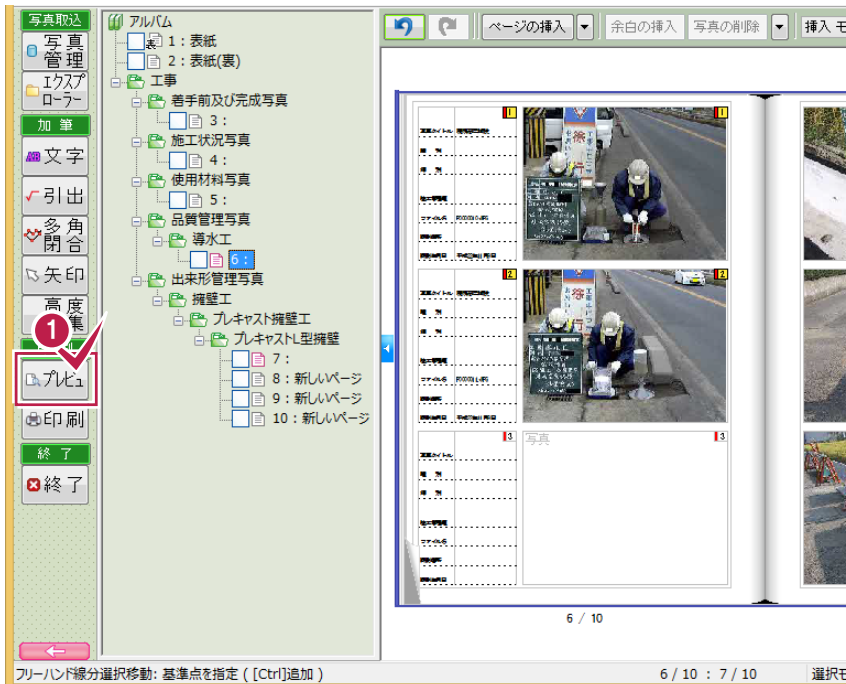
6-4 引き出し文字を入力する

引き出し文字を入力します。

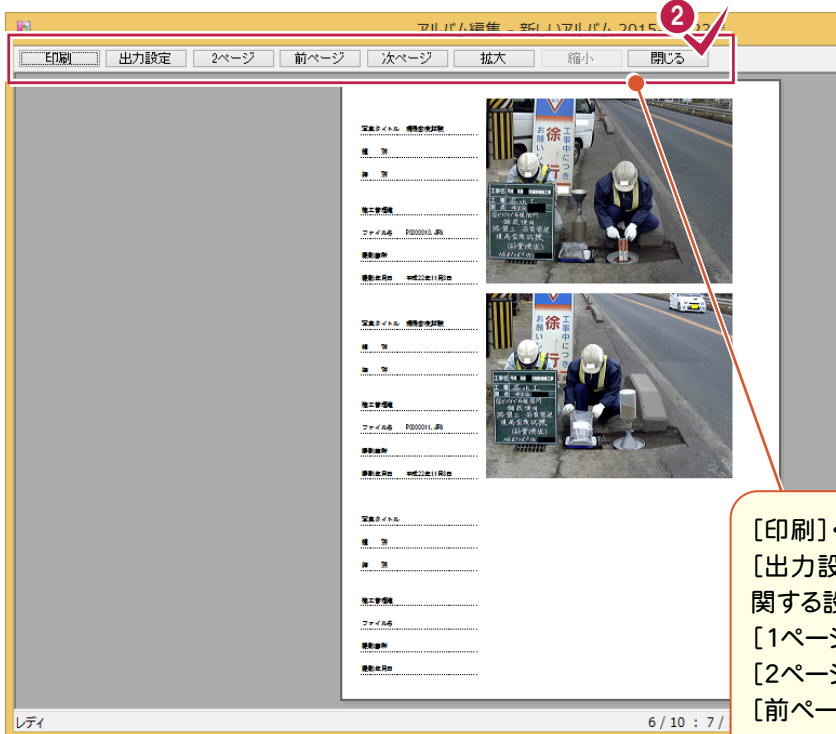


6-5 印刷イメージを表示する

編集中のアルバムの印刷イメージを確認します。



1 [プレビュー]をクリックします。

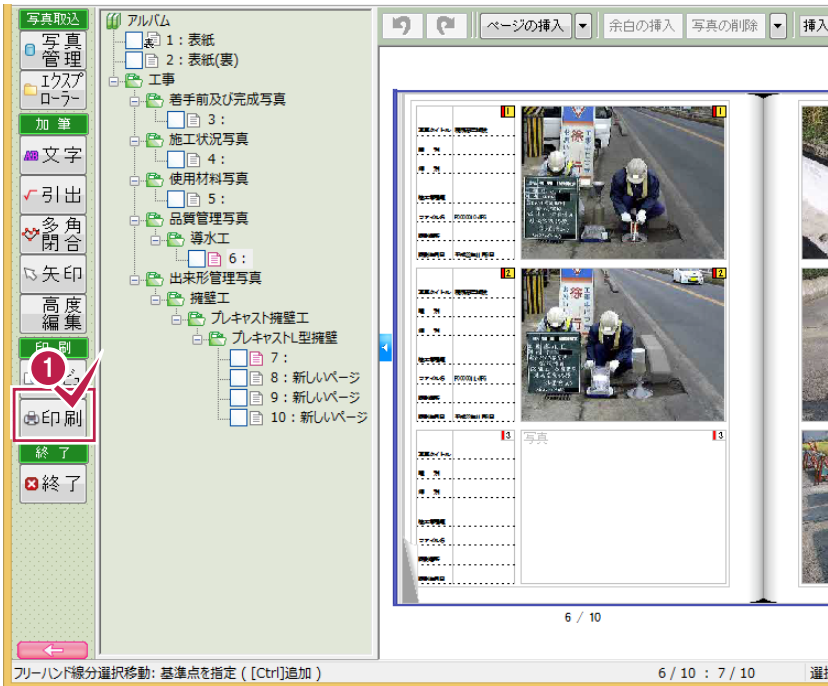


2 印刷イメージの確認や印刷が終了したら、[閉じる]をクリックします。

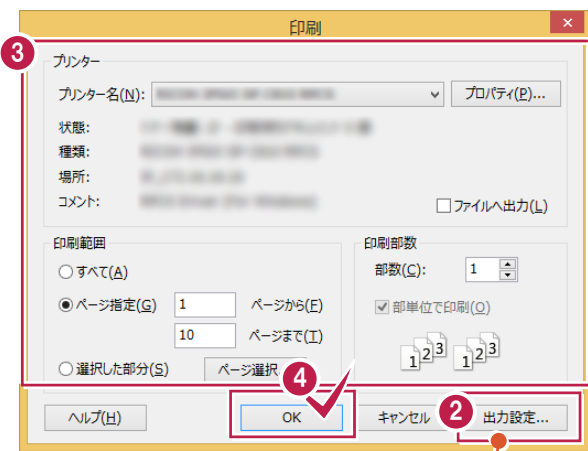
[印刷]・・・印刷を実行します。
 [出力設定]・・・[出力設定]ダイアログで、印刷に関する設定をおこないます。
 [1ページ]・・・1ページ単位でプレビュー表示します。
 [2ページ]・・・2ページ単位でプレビュー表示します。
 [前ページ]・・・前のページを表示します。
 [次ページ]・・・次のページを表示します。
 [拡大]・・・プレビューを拡大します。
 [縮小]・・・プレビューを縮小します。
 [閉じる]・・・印刷プレビューウィンドウを閉じます。

6-6 アルバムを印刷する

編集中のアルバムをプリンターで出力します。



1 [印刷]をクリックします。



2 [出力設定]で印刷に関する設定をおこないます。

3 使用するプリンター名、印刷範囲、印刷部数などを設定します。

4 [OK]をクリックします。

印刷に関する設定をおこないます。
[出力設定]ダイアログについては次ページのメモを参照してください。



出力設定ダイアログについて

[その他]タブで、偶数/奇数ページのみ印刷、写真が配置されていない写真枠について設定します。



[印刷ページの指定]

[全て印刷]・・・全てのページを印刷します。

[偶数のみ印刷]・・・偶数ページのみ印刷します。

[奇数のみ印刷]・・・奇数ページのみ印刷します。

本設定は、偶数/奇数ページの印刷のみです。「1ページ～5ページまでを印刷」など印刷範囲を指定したい場合は、印刷時に表示される[印刷]ダイアログで設定してください。

[用紙サイズ]の[ページに合わせ、自動選択する]チェックボックス

オン: アルバムの用紙サイズに合わせて、印刷する用紙が自動選択されます。

オフ: アルバムの用紙サイズに関係なく、プリンターの設定で選択されている用紙に印刷されます。

A4のページをA3の用紙に2ページまとめて印刷する場合などは、チェックをオフにします。

[未配置の写真枠に文字を出力]チェックボックス

オン: 写真が配置されていない写真枠に、文字列を印刷します。

オフ: 写真が配置されていない写真枠には、何も表示しません。

[表示する文字列]・・・写真が配置されていない写真枠に印刷する文字列を入力します。



チェックがオン
文字列:「余白」の場合



チェックがオフの
場合

[白紙ページ]の[白紙ページを印刷する]チェックボックス

オン: 白紙ページを印刷します。

オフ: 白紙ページを印刷しません。

6-7 アルバム編集を終了する

アルバム編集を終了します。

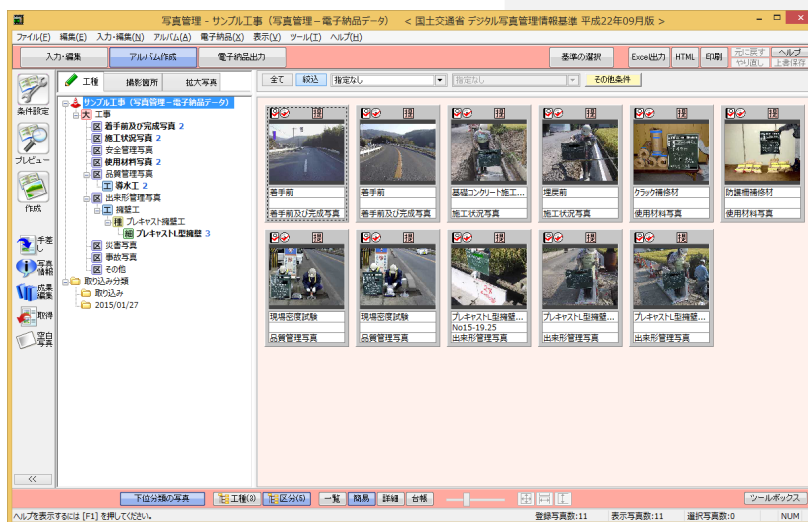
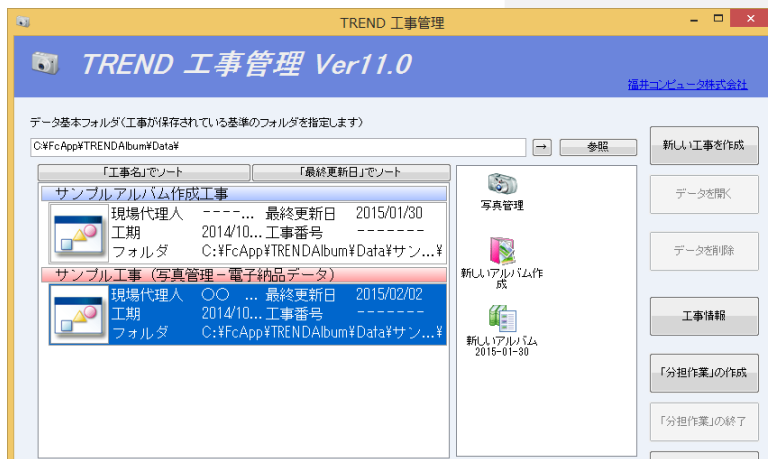


[工事管理]
[新しいアルバム作成]から起動していた場合

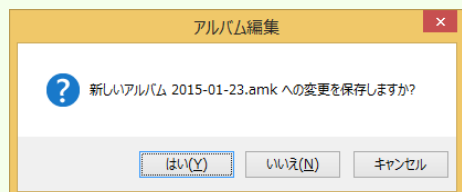


[写真管理]
自動作成や[成果編集]から起動していた場合

1 [終了]をクリックします。

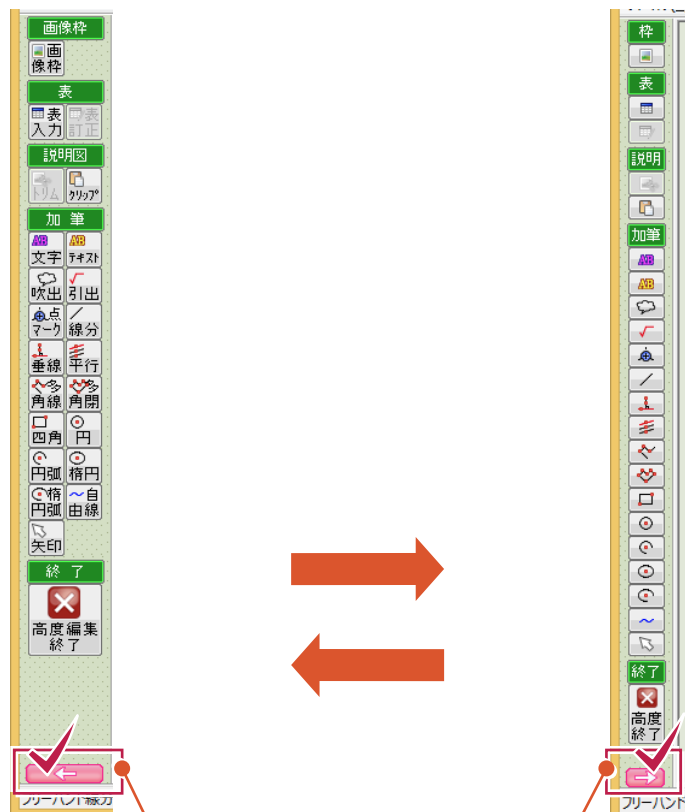


アルバムを編集中の場合は、保存するかどうかのメッセージが表示されます。上書き保存するときは[はい]、データを破棄するときは[いいえ]をクリックします。



7 ガイダー(より高度な編集)

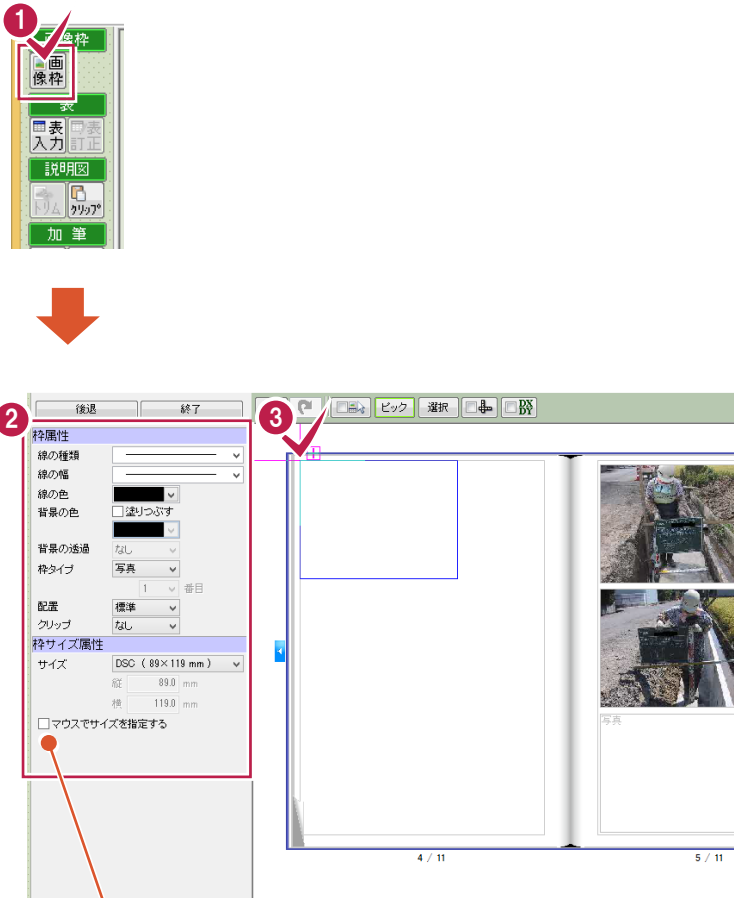
よく使用するコマンドが[画像枠][表][説明図][加筆][終了]に分けて配列されています。



矢印をクリックすると、アイコンの大きさが切り替わります。

7-1 画像枠を配置する

画像枠を配置します。

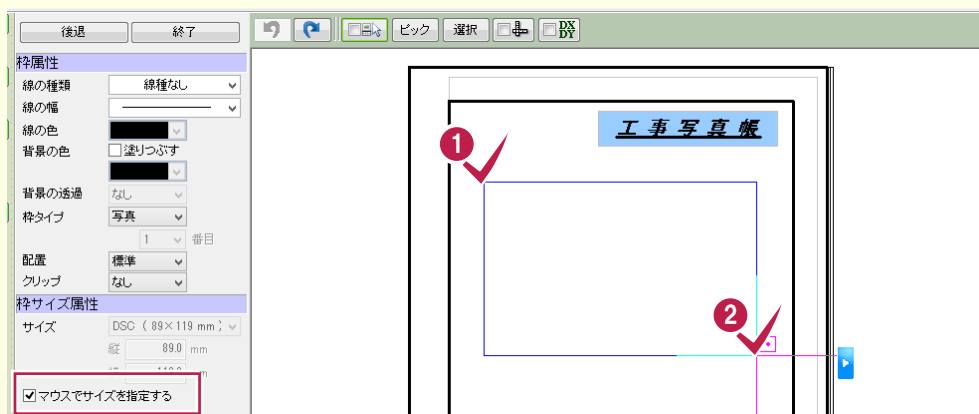


1 [画像枠]をクリックします。

2 画像枠に関する各種設定をおこないます。
各設定の詳細については、次ページのメモを参照してください。

3 画像枠の配置位置をクリックします。

このチェックボックスをオンにすると、任意の大きさの画像枠が2点対角指定で入力できます。



画像枠の各種設定について

一つ前の操作に戻ります。

枠配置を終了します。

枠の背景を塗りつぶす場合は、チェックボックスをオンにして背景色を設定します。

枠の背景を塗りつぶす場合に有効で、背景の透過の割合を設定します。

[クリップ]が「なし」の場合に有効です。

[標準]



写真をそのまま表示します。

[ジャスト]



写真を枠全体に表示します。枠の比率が大きい方に合わせて、写真の上下または左右がカットされます。

枠の線種を設定します。

枠の線幅を設定します。

枠の色を設定します。

[写真]

写真管理データの写真と連動させる場合に選択します。

[参考図、～番目]

写真管理データの参考図と連動させる場合に選択します。

同時に何番目の参考図か指定します。

[フリー]

写真管理データと連動させない場合に選択します。

配置する枠のサイズを選択します。[ユーザー指定]を選択した場合は、「縦」と「横」のサイズを入力します。

[なし]



写真をそのまま表示します。

[丸角矩形]



写真を「角が丸い矩形」でトリミングします。

[楕円・円]



写真を「楕円または円」でトリミングします。

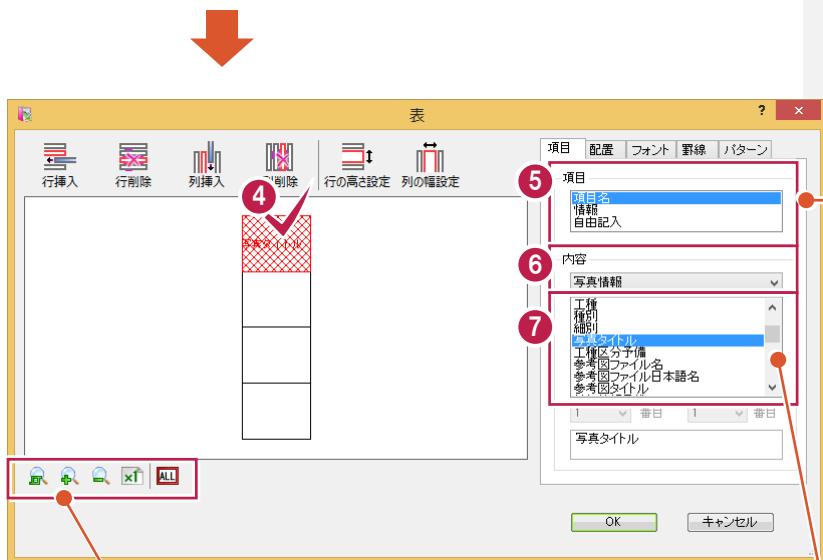
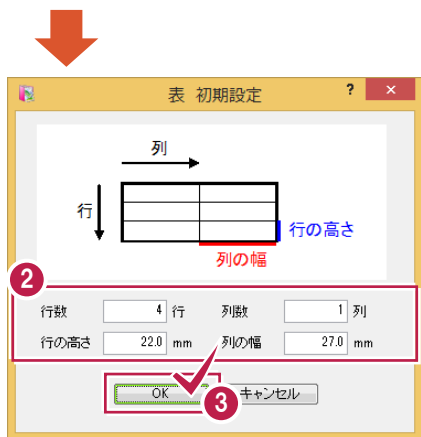
7-2 表を配置する

表を配置します。

写真管理データの工事情報や写真情報と連動した表も作成可能です。

操作例では、4項目(4行2列)の表を設定し、用紙に配置します。また、1列目を先に設定し、その列を利用して列の挿入(複写)で2列目を作成し、「情報」の属性に変更する操作方法で解説します。

「項目名」の列を設定する



プレビュー上で表示の拡大縮小などをおこなうことができます。また、プレビュー上での両ボタンドラッグでもおこなえます。

1 [表入力]をクリックします。

2 左図のように行や列に関する設定をおこないます。

3 [OK]をクリックします。

4 項目名を設定するセルをクリックします。

5 [項目]で「項目名」をクリックします。

6 [内容]で「写真情報」を選択します。

7 項目一覧で「写真タイトル」をクリックします。

【項目】で「項目名」を選択した場合

【内容】で「工事情報」「写真情報」「施工管理値(表形式)」の項目名を選択します。項目名は一番下のボックスで編集可能です。

【項目】で「情報」を選択した場合

【内容】で「工事情報」「写真情報」「施工管理値(表形式)」の情報を選択します。情報は写真管理データから値が連動します。

【項目】で「自由記入」を選択した場合

【内容】に記入内容を入力します。

スクロールして項目を表示させます。

8 項目名
情報
自由記入

9 写真情報
写真タイトル
工種区分予備
参考図ファイル名
参考図ファイル日本語名
参考図タイトル
付加情報予備
撮影年月日...

10 項目名
情報
自由記入

写真タイトル
種別
撮影箇所
撮影年月日

写真情報
写真タイトル
工種区分予備
参考図ファイル名
参考図ファイル日本語名
参考図タイトル
付加情報予備
撮影年月日...

撮影箇所
撮影年月日

OK キャンセル

8 9 10

④→⑤→⑦の操作を繰り返して、
図のように各セルを設定します。
2行目・・・「種別」
3行目・・・「撮影箇所」
4行目・・・「撮影年月日」

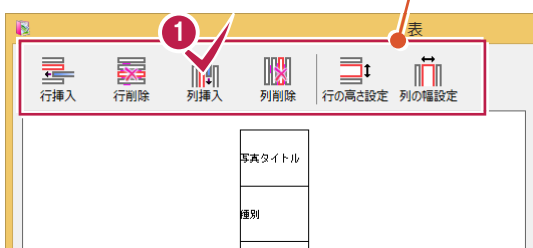
列を挿入(複製)する

「項目名」の列を利用して、「情報」の列を作成します。

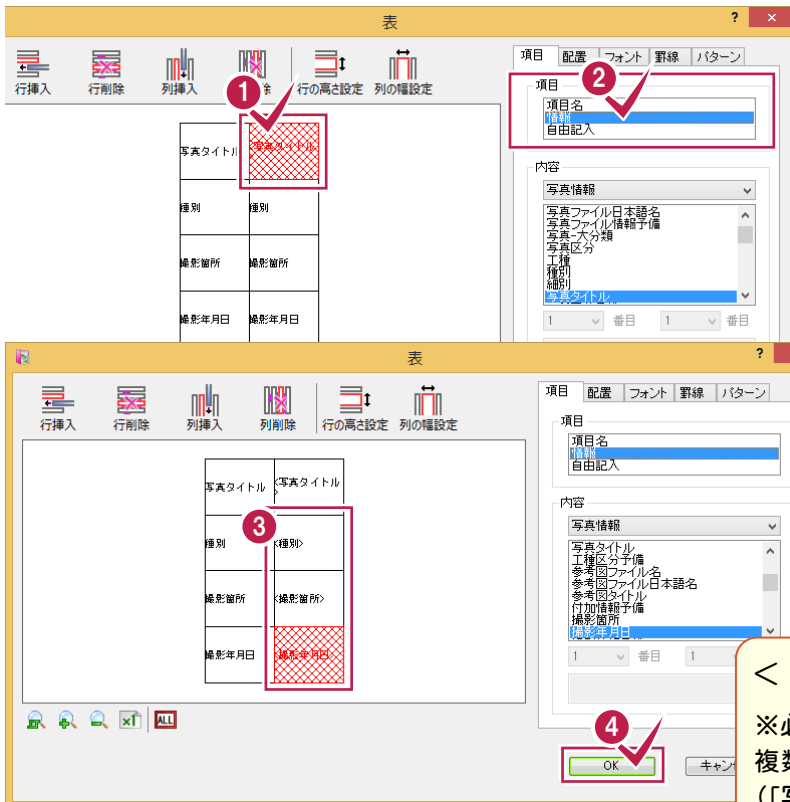
操作例では、挿入操作で「項目名」の列を複製して、各項目を「情報」に変更していきます。

- [行挿入]・・・選択行と同じ属性の行を挿入します。(最大20行)
- [行削除]・・・選択行を削除します。
- [列挿入]・・・選択列と同じ属性の列を挿入します。(最大5列)
- [列削除]・・・選択列を削除します。
- [行の高さ設定]・・・選択行の高さを設定します。(複数行選択可)
- [列の幅設定]・・・選択列の幅を設定します。(複数行選択可)

1 [列挿入]をクリックします。



2列目を「情報」に変更する



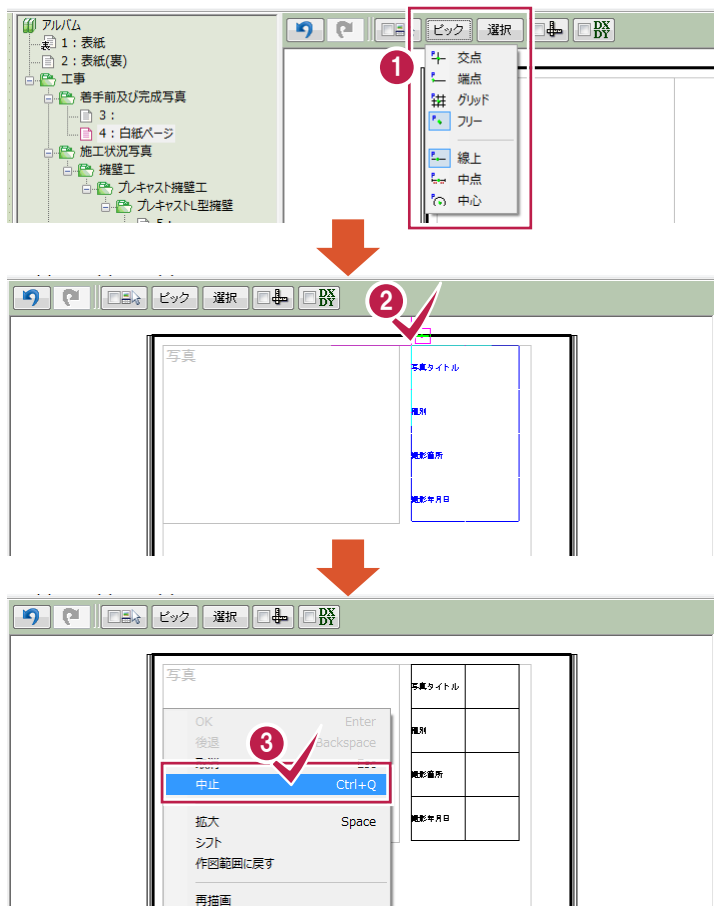
- 1 変更対象のセルをクリックします。
- 2 [項目]で「情報」をクリックします。
- 3 上記①～②の操作を繰り返して、各セルを「項目名」から「情報」に変更します。
- 4 [OK]をクリックします。

< >付き表示になります。

※必ず、1セルごとに設定変更してください。
複数のセルを選択してこの操作をおこなうと、内容
([写真タイトル]など)も一括して変更されます。

用紙に表を配置する

例では、操作しやすいように[ピックモード]の[フリー]と[線上]のみをオンにした状態で操作します。

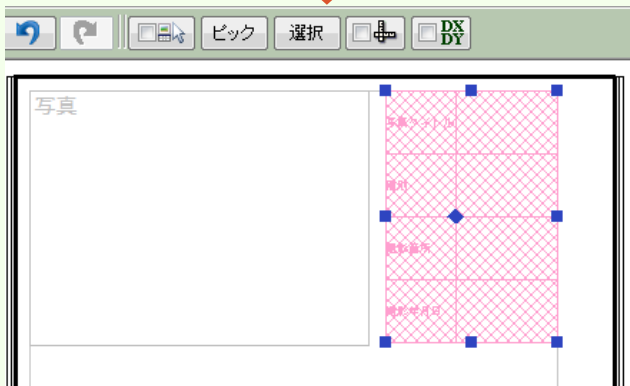
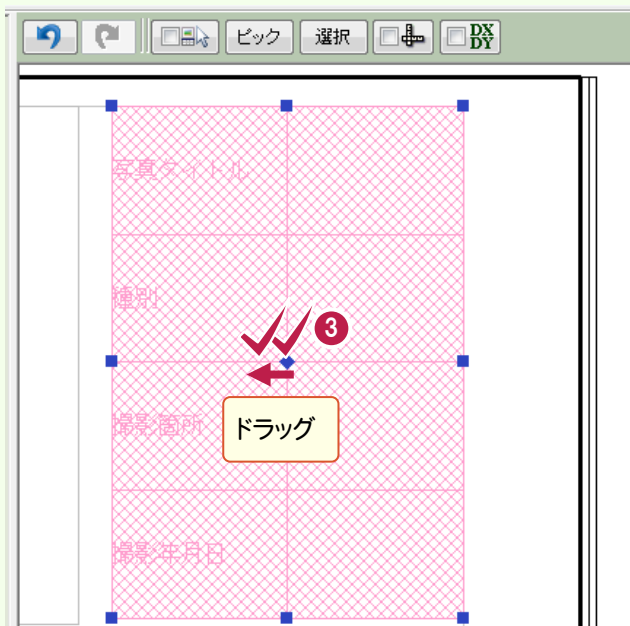
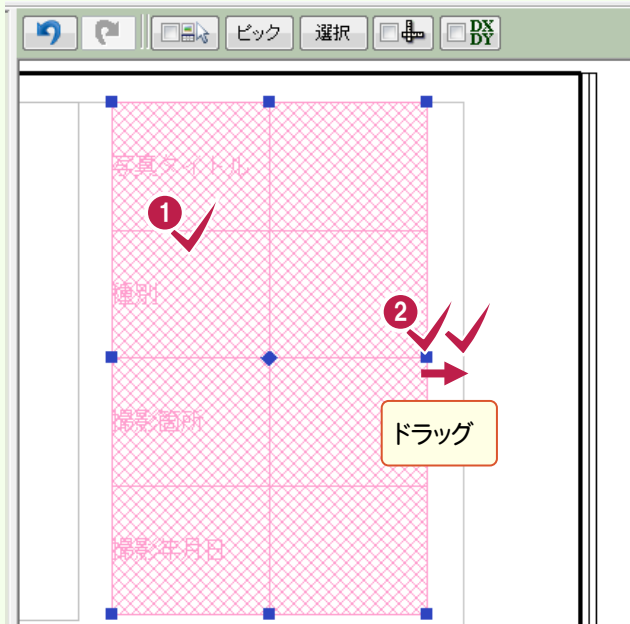


- 1 [ピックモード]の[フリー]と[線上]のみをオンにした状態にします。
- 2 表の左上が余白ライン上になるような位置をクリックします。
- 3 マウスの右ボタンを押して、ポップアップメニューの[中止]をクリックします。

メモ

CAD 上に配置した表のサイズを変更する方法

配置した表のサイズを CAD 画面上で変更する方法について解説します。
 操作例では、表の全体の幅を余白ラインまで拡張し、「項目名」の列の幅を縮めます。



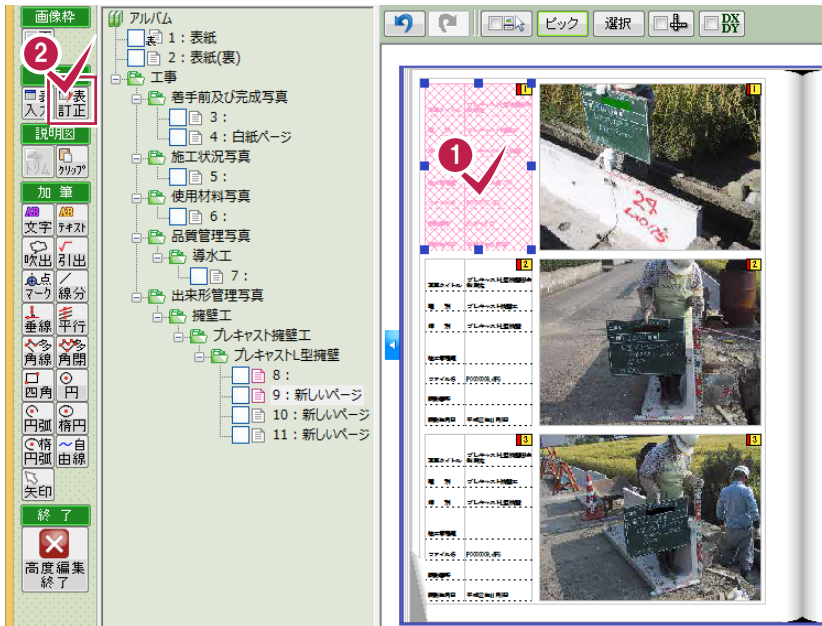
- 1 表を選択します。
- 2 表の右側面の中心のハンドルを指定し、余白ラインまでドラッグします。

- 3 表の中央のハンドルを指定し、左方向にドラッグして、「項目名」の列の幅を縮めます。

「■」をドラッグすると、表サイズが変更できます。
 「◆」をドラッグすると、隣接する列サイズが変更できます。
 「■」「◆」以外の位置でドラッグすると、表の配置位置を移動できます。

7-3 表を訂正する

表を訂正します。



- 1 訂正する表をクリックします。
- 2 [表訂正]をクリックします。



セルを選択して、[項目][配置][フォント][罫線][パターン]タブで、セルの属性(項目、配置、フォント、罫線、パターン)を設定します。

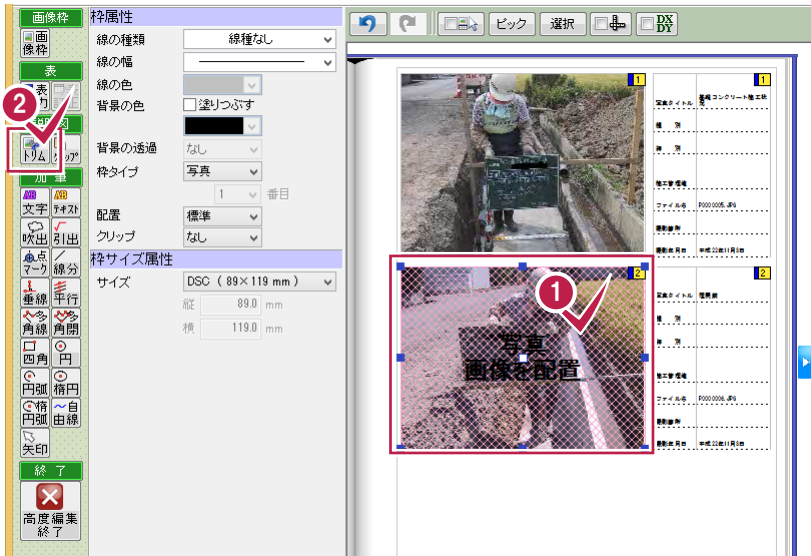


- 3 セルの属性(項目、配置、フォント、罫線、パターン)やレイアウトなどを変更します。
- 4 訂正を終了したら[OK]をクリックします。

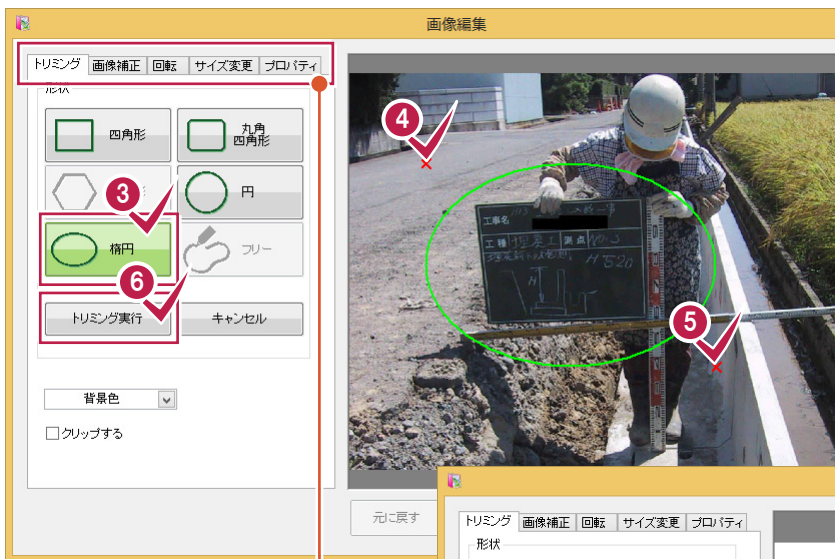
7-4 画像を編集する

画像を編集します。

操作例では、トリミング編集を解説します。実際には、配置されている画像を利用して拡大写真を追加します。



- 1 拡大の対象となる配置済みの写真をクリックします。
- 2 [トリム]をクリックします。
- 3 トリミングの形状を選択します。操作例では[楕円]をクリックします。
- 4 5 トリミングの範囲の1点目と2点目を対角にクリックします。
- 6 [トリミング実行]をクリックします。
- 7 [別名で保存して終了]をクリックします。



タブ名	操作概要
トリミング	写真の一部を切り取ります。
画像補正	写真の明るさやコントラストなどを調整します。
回転	写真を回転します。
サイズ変更	写真の大きさを変更します。
プロパティ	写真のサイズやファイル形式など画像情報を確認します。

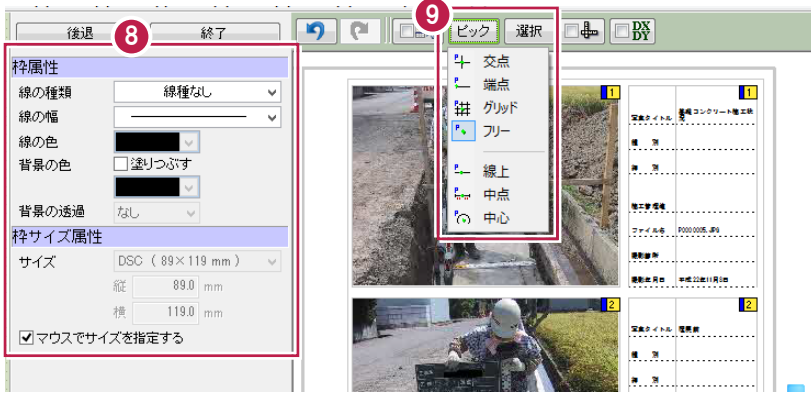


編集操作を一つ戻します。ただし3つ前の操作までです。

編集中の写真を印刷します。

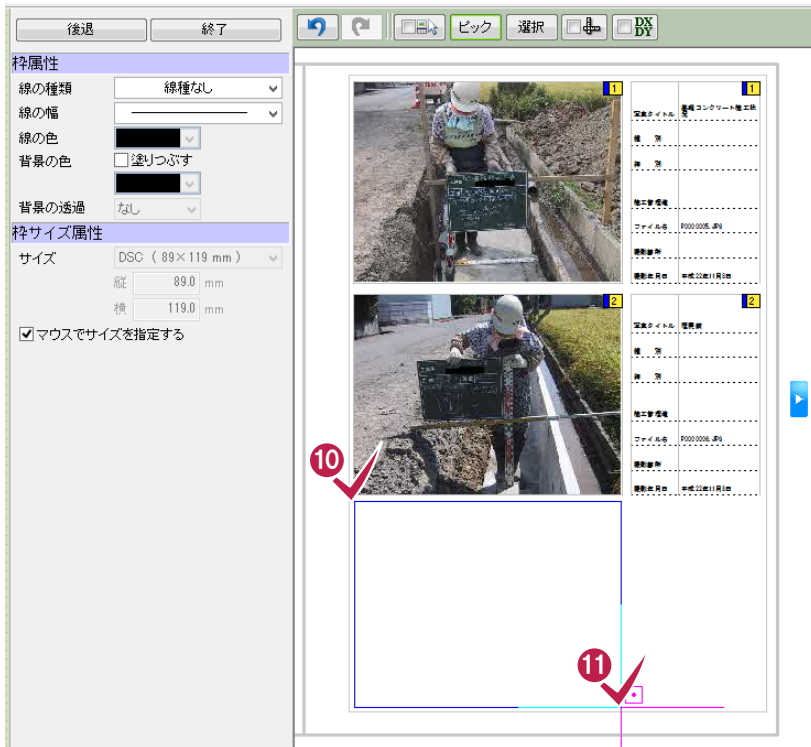
編集中の写真を上書きして、画像編集を終了します。

7. ガイダー(より高度な編集)



8 [線の種類]で「線種なし」を選択し、[マウスでサイズを指定する]チェックボックスをオンにします。

9 [ピックモード]の[交点][端点][グリッド]をオフにして、[フリー]のみオンにします。



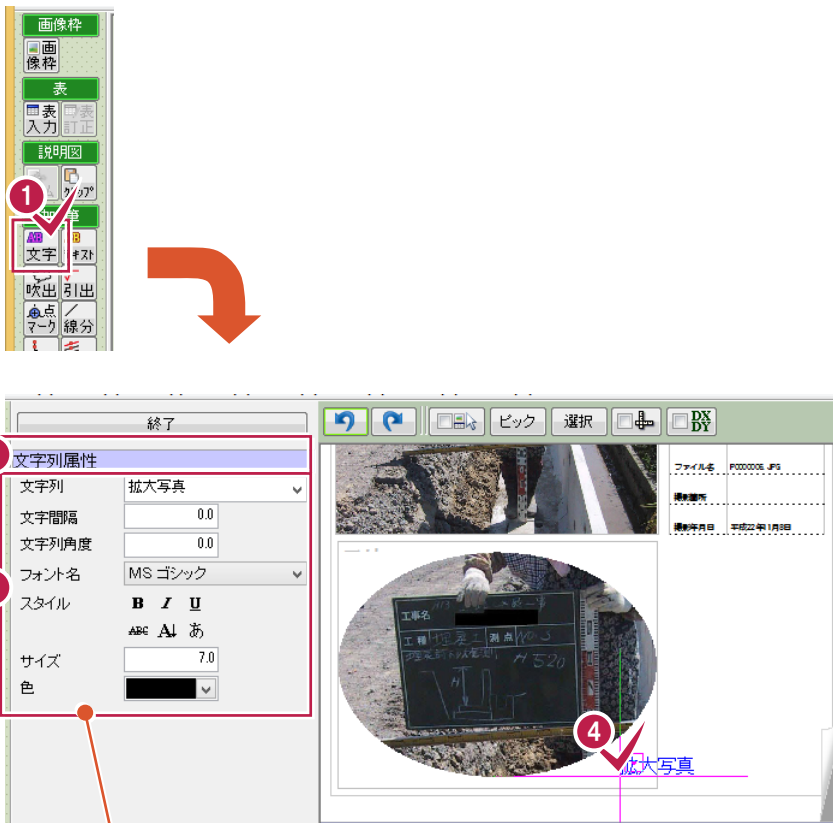
10 11 トリミングした画像を配置する範囲の1点目と2点目を対角にクリックします。



指定した四角形領域の中央に画像が配置されます

7-5 文字を入力する

文字を入力します。



[文字列]・・・文字列を入力します。
 [文字間隔]・・・文字の間隔を設定します。
 [文字列角度]・・・文字列を傾ける角度を設定します。
 [フォント名]・・・文字列のフォントを選択します。
 [スタイル]・・・太字・斜体・下線・取消線・縦書き・全角を指定します。
 [サイズ]・・・文字の大きさを設定します。
 [色]・・・文字の色を設定します。



1 [文字]をクリックします。

2 [文字列]に配置する文字列を入力します。

3 文字のサイズ、色などを設定します。

4 文字の配置位置をクリックします。

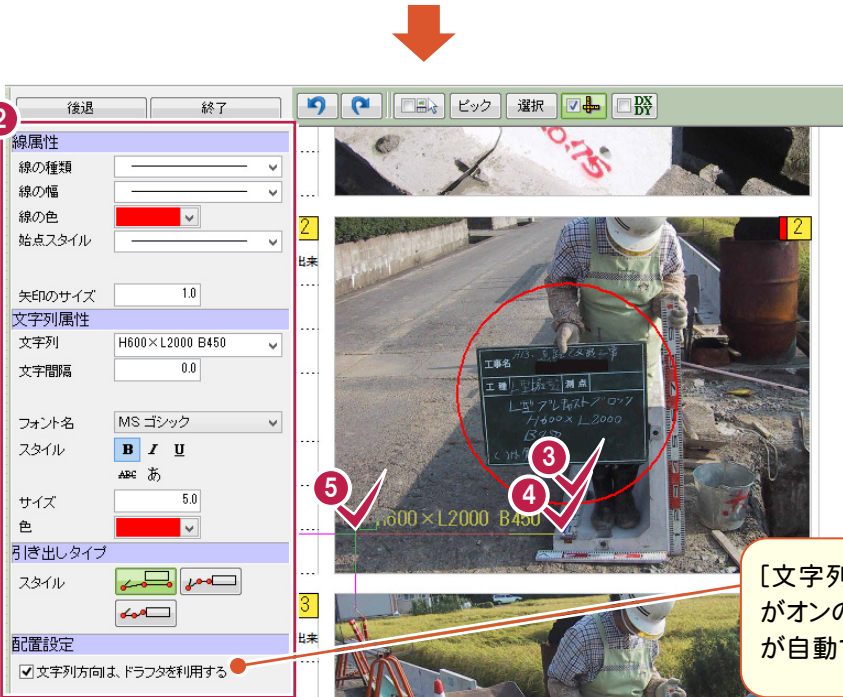
5 文字の入力を終了したら、[終了]をクリックします。

7-6 引き出し文字を入力する

引き出し文字を入力します。



1 [引出]をクリックします。



2 引き出し文字の属性を設定します。

3 引き出し線の先端をクリックします。

4 引き出し線の折れ点をクリックします。

5 引き出し線の方向をクリックします。

[文字列方向は、ドラフトを利用する]のチェックがオンのときは、3点目の入力時にドラフト機能が自動でオン になります。



6 引き出し線の入力を終了したら、[終了]をクリックします。

写真の上に配置した図形や文字を編集するときは、コマンドバーの[画像枠][表]を選択対象外とするかの設定をオン にしておくと、写真が選択されなくなり、編集対象の要素のみの選択がしやすくなります。

7-7 線分を入力する

操作例では、エリアの境界部分に仕切りとして線分を入力しています。



1 [線分]をクリックします。

[線の種類]・・・線の線種を設定します。
 [線の幅]・・・線の線幅を設定します。
 [線の色]・・・線の色を設定します。
 [始点スタイル]・・・線の始点の形状を選択します。
 [終点スタイル]・・・線の終点の形状を選択します。
 [矢印のサイズ]・・・線の始点と終点の矢印の大きさを設定します。

2 線の属性を設定します。

3 線の1点目をクリックします。

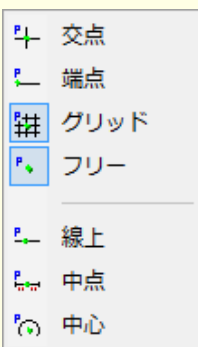
4 ここでは、[ドラフタ]のチェックをオンにします。

5 線の2点目をクリックします。

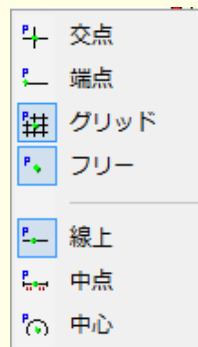
6 線の入力を終了したら、[終了]をクリックします。



1点目をクリックするとき、ピックモードを以下のように設定します。



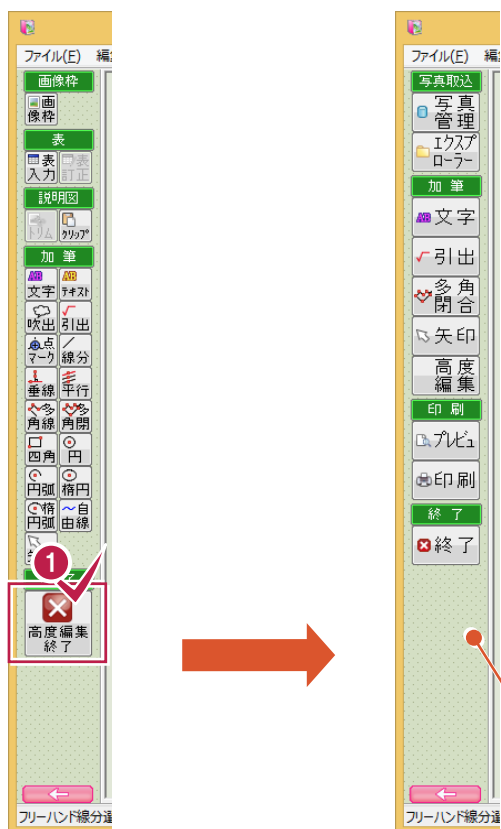
2点目をクリックするとき、ピックモードを以下のように設定します。



7-8

より高度な編集を終了する

より高度な編集を終了します。



1 [高度編集終了]をクリックします。

ガイドバー(アルバム作成)に切り替わります。